智頭町議会定例会会議録

令和7年3月6日開議

1. 議事日程

- 第 1. 会議録署名議員の指名
- 第 2. 会期の決定
- 第 3. 諸般の報告
- 第 4. 町長の施政方針並びに提案理由説明
- 第 5. 議案第13号 令和7年度智頭町一般会計予算
- 第 6. 議案第14号 令和7年度智頭町国民健康保険事業特別会計予算
- 第 7. 議案第15号 令和7年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 第 8. 議案第16号 令和7年度智頭町公共用地先行取得事業特別会計予算
- 第 9. 議案第17号 令和7年度智頭町介護保険事業特別会計予算
- 第10. 議案第18号 令和7年度智頭町介護保険サービス事業特別会計予算
- 第11. 議案第19号 令和7年度智頭町後期高齢者医療特別会計予算
- 第12. 議案第20号 令和7年度智頭町簡易水道事業会計予算
- 第13. 議案第21号 令和7年度智頭町公共下水道事業会計予算
- 第14. 議案第22号 令和7年度智頭町農業集落排水事業会計予算
- 第15. 議案第23号 令和7年度智頭町水道事業会計予算
- 第16. 議案第24号 令和7年度智頭町病院事業会計予算
- 第17. 議案第34号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 第18. 議案第35号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 第19. 議案第36号 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 第20. 議案第37号 智頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正について
- 第21. 議案第38号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 第22. 議案第39号 智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

- 第 23. 議案第 40 号 企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- 第 24. 議案第 41 号 智頭町副町長の選任について
- 第 25. 議案第 42 号 智頭町監査委員の選任について
- 第 26. 議案第 43 号 智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 第 27. 議案第 44 号 第 4 次智頭町行財政改革プランの改訂について
- 第 28. 議案第 45 号 公の施設における指定管理者の指定について（智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンター）
- 第 29. 議案第 46 号 公の施設における指定管理者の指定について（旧塩屋出店及び西河克己映画記念館）
- 第 30. 議案第 47 号 町道の路線の変更について
- 第 31. 議案第 48 号 字の区域の変更について
- 第 32. 議案第 25 号 令和 6 年度智頭町一般会計補正予算（第 8 号）
- 第 33. 議案第 26 号 令和 6 年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）
- 第 34. 議案第 27 号 令和 6 年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 第 35. 議案第 28 号 令和 6 年度智頭町介護保険事業特別会計補正予算（第 5 号）
- 第 36. 議案第 29 号 令和 6 年度智頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）
- 第 37. 議案第 30 号 令和 6 年度智頭町公共下水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 第 38. 議案第 31 号 令和 6 年度智頭町農業集落排水事業会計補正予算（第 4 号）
- 第 39. 議案第 32 号 令和 6 年度智頭町水道事業会計補正予算（第 4 号）
- 第 40. 議案第 33 号 令和 6 年度智頭町病院事業会計補正予算（第 4 号）
- 第 41. 陳情について

1. 会議に付した事件

- 第 1. 会議録署名議員の指名
- 第 2. 会期の決定

- 第 3. 諸般の報告
- 第 4. 町長の施政方針並びに提案理由説明
- 第 5. 議案第 13 号 令和 7 年度智頭町一般会計予算
- 第 6. 議案第 14 号 令和 7 年度智頭町国民健康保険事業特別会計予算
- 第 7. 議案第 15 号 令和 7 年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 第 8. 議案第 16 号 令和 7 年度智頭町公共用地先行取得事業特別会計予算
- 第 9. 議案第 17 号 令和 7 年度智頭町介護保険事業特別会計予算
- 第 10. 議案第 18 号 令和 7 年度智頭町介護保険サービス事業特別会計予算
- 第 11. 議案第 19 号 令和 7 年度智頭町後期高齢者医療特別会計予算
- 第 12. 議案第 20 号 令和 7 年度智頭町簡易水道事業会計予算
- 第 13. 議案第 21 号 令和 7 年度智頭町公共下水道事業会計予算
- 第 14. 議案第 22 号 令和 7 年度智頭町農業集落排水事業会計予算
- 第 15. 議案第 23 号 令和 7 年度智頭町水道事業会計予算
- 第 16. 議案第 24 号 令和 7 年度智頭町病院事業会計予算
- 第 17. 議案第 34 号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 第 18. 議案第 35 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 第 19. 議案第 36 号 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
- 第 20. 議案第 37 号 智頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正について
- 第 21. 議案第 38 号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 第 22. 議案第 39 号 智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 第 23. 議案第 40 号 企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- 第 24. 議案第 41 号 智頭町副町長の選任について
- 第 25. 議案第 42 号 智頭町監査委員の選任について
- 第 26. 議案第 43 号 智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 第 27. 議案第 44 号 第 4 次智頭町行財政改革プランの改訂について

- 第28. 議案第45号 公の施設における指定管理者の指定について（智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンター）
- 第29. 議案第46号 公の施設における指定管理者の指定について（旧塩屋出店及び西河克己映画記念館）
- 第30. 議案第47号 町道の路線の変更について
- 第31. 議案第48号 字の区域の変更について
- 第32. 議案第25号 令和6年度智頭町一般会計補正予算（第8号）
- 第33. 議案第26号 令和6年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
- 第34. 議案第27号 令和6年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）
- 第35. 議案第28号 令和6年度智頭町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）
- 第36. 議案第29号 令和6年度智頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第37. 議案第30号 令和6年度智頭町公共下水道事業会計補正予算（第3号）
- 第38. 議案第31号 令和6年度智頭町農業集落排水事業会計補正予算（第4号）
- 第39. 議案第32号 令和6年度智頭町水道事業会計補正予算（第4号）
- 第40. 議案第33号 令和6年度智頭町病院事業会計補正予算（第4号）
- 第41. 陳情について

1. 会議に出席した議員（12名）

1番 北川 貴 将	2番 仲 井 莖
3番 西 尾 寿 樹	4番 岡 田 光 弘
5番 宮 本 行 雄	6番 田 中 賢
7番 谷 口 翔 馬	8番 波 多 恵理子
9番 岩 本 富美男	10番 大河原 昭 洋
11番 安 道 泰 治	12番 谷 口 雅 人

1. 会議に欠席した議員（0名）

1. 会議に出席した説明員（15名）

町	長	金 兒 英 夫
副 町	長	矢 部 整
教 育	長	田 中 靖
病 院 事 業 管 理 者		葉 狩 一 樹
総 務 課 長		國 岡 厚 志
企 画 課 長		迎 山 恵 一
税務住民課長兼水道課長		西 川 公 一 郎
教 育 課 長		竹 内 学
地 域 整 備 課 長		酒 本 和 昌
山 村 再 生 課 長		山 本 進
地 籍 調 査 課 長		原 田 誠 之
福 祉 課 長		山 本 洋 敬
会 計 課 長		前 田 美 由 紀
総 務 課 参 事		國 岡 ま ゆ み
病 院 事 務 部 長		福 安 教 男

1. 会議に出席した事務局職員（3名）

事 務 局 長	福 安 充 子
書 記	古 田 光 一
書 記	山 崎 里 奈

開 会 午 前 1 0 時 3 0 分

開 会 あ い さ つ

○議長（谷口雅人） ただいまの出席議員は12名であります。

定足数に達しておりますので、令和7年第1回智頭町議会定例会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（谷口雅人） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、3番、西尾寿樹議員、4番、岡田光弘議員を指名します。

日程第2．会期の決定

○議長（谷口雅人） 日程第2、会期の決定の件を議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から3月18日までの13日間としたいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から3月18日までの13日間と決定しました。

日程第3．諸般の報告

○議長（谷口雅人） 日程第3、諸般の報告を行います。

監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定に基づき、令和7年1月分から2月分の例月出納検査報告書が提出されました。お手元に写しを配付しておりますのでご承知ください。

次に、陳情の処理経過及び結果について智頭町長から報告がありました。お手元に写しを配付しておりますのでご承知ください。

次に、鳥取県東部広域行政管理組合議会が去る令和7年2月6日から7日に開会され、議案7件が可決されました。なお、議案等につきましては、議会事務局にて閲覧していただきますようお願いいたします。

次に、鳥取県後期高齢者医療広域連合議会が去る令和7年2月14日に開会され、議案10件が可決されました。なお、議案等につきましては、議会事務局に

て閲覧していただきますようお願いいたします。

次に、今期定例会の説明員につきましては、2月27日付をもって、町長並びに教育長に出席の要求をしております。

次に、前臨時会以降、議長等の動静につきましては、お手元に配付しておりますので、後ほどご覧いただき、議会活動、また議員活動に資していただければと思っております。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第13号から日程第31．議案第48号まで 36案
一括上程

○議長（谷口雅人）　これから、議案第13号　令和7年度智頭町一般会計予算から議案第48号　字の区域の変更についてまでの36議案を一括して議題とします。

日程第4、町長の施政方針並びに提案理由の説明を求めます。

金兒町長。

○町長（金兒英夫）　本日ここに、第1回定例町議会を招集しましたところ、議員各位には、ご多忙のところ出席いただき誠にありがとうございます。

はじめに、昨年のお正月に発生した「令和6年能登半島地震」では、建物の倒壊や火災、津波などにより多くの皆様が被災され、また、同年9月の記録的な大雨により、地震からの復興途上にあつた被災地において、再度、甚大な被害が発生しました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の安全と一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて、昨年10月に鳥取県から初となる石破総理大臣が誕生し、人口減少対策や地方創生の推進に大きな期待を寄せるところです。

石破総理は、早速、地方こそ成長の主役との考え方に立った「地方創生2.0」を掲げられ、地方の特性を生かした新しい産業やビジネスモデルの創出、観光振興、人材育成、インフラ整備などを通じ、地方の魅力を高め、人口減少や高齢化に対処することを目指し、地方創生交付金を倍増することとされています。本町においても、可能な限りこの交付金を活用し、一層のまちづくりに取り組んでまいります。

それでは、諸議案の説明に先立ち、令和7年度に臨む私の所信の一端を申し述べ、本議会を通じ、住民皆様のご理解とご協力をいただきたいと思います。

不安定な世界情勢、円安傾向などを背景とした、エネルギー価格の高騰や物価高は収束する様子がなく、引き続き国民生活や地域経済に大きな影響を与え続けています。

加えて、地球温暖化の影響と考えられる異常気象による自然災害は、毎年国内各地で甚大な被害をもたらし、国民生活に脅威を与えています。

また、昨年8月に発生した日向灘を震源とする地震の際には、「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、想定されている巨大地震も現実味を帯びてきています。

私は、昨年6月町長2期目就任に臨み、引き続き「一人ひとりの人生に寄り添ったまちづくり」を実現するため、10項目の公約を掲げました。公約実現に向け、これまでコロナ禍で困難であった町民皆様との対話を通して、町民皆様と協力して、町づくりを進め、安全安心で活力があり、豊かで幸せな暮らしが実感できる「住んでよかったと思えるまちづくり」を全身全霊で進めてまいり所存であります。

国の令和7年度地方財政計画では、社会保障関係費、人件費の増加や物価高が見込まれる中、地方団体が様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和6年度を上回る額を確保されたものの、臨時財政対策債は、平成13年度の制度創設以来、初めて新規発行額ゼロとなっています。

本町においては、自主財源である町税のうち、市町村民税は、個人所得の増加や定額減税の終了などに伴う増収が見込まれるとともに、各事業所の決算状況による法人税割の増収も見込んでいます。

一方、固定資産税にあっては、家屋及び償却資産分の減価償却による減額が見込まれ、減収を見込んでいます。

また、市町村たばこ税の減収も見込まれるものの、町税全体としては増収を見込んでいます。

しかしながら、依然として一般財源の確保が困難となる傾向が続いていることに加え、昨今の物価高騰に伴い諸経費は増し、人件費や扶助費、公債費などの義務的経費は累増するほか、人口減少対策や子育て施策、デジタル化の推進、脱炭素社会の推進を目指した取組など、将来を見据えた行政課題への対応に要する経

費も必要であり、今後も厳しい財政状況が続くものと見込まれます。

このため、令和7年度当初予算編成に当たっては、歳入に見合った歳出が基本であることを念頭に、必要性や緊急性を考慮し、経費の精査や事業の統廃合を徹底するなど、無駄を排除し、予算の適正化に努めたところであります。

このような財政状況にあっても、「SDGs未来都市」としての役割を果たしつつ、「第7次智頭町総合計画」の4つの基本理念と「第2期智頭町総合戦略」を踏まえた諸施策・事業を着実に実施していかねばなりません。

令和7年度は、「第7次総合計画」下期5年の4年目となり、計画の着実な実行が求められます。町の将来像に掲げる「一人ひとりの人生に寄り添えるまちへ」を実現するため取り組んできたところですが、引き続きこの将来像の実現に向け、「6つの視点」に沿った諸施策・事業及び「第2期智頭町総合戦略」の重点施策を、主役である町民皆様と共に取り組んでまいります。

第7次総合計画の「6つの視点」のうち、「智頭町ならではの自然やつながりで健康長寿なくらし」の実現については、引き続き、社会福祉協議会、地域の皆様と連携しながら、本町に暮らす全ての住民が、住み慣れた地域で、希望や生きがいを持ち、健やかで心豊かに自立した生活を送ることができる「智頭らしい地域福祉」の実現を目指し、地域で支え合う体制づくりを展開します。

さらに、近年町民の抱える課題が複雑化、複合化する中、子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者等といった属性を問わない相談や狭間ニーズへ対応するため、重層的支援体制整備事業を引き続き推進するとともに、包括的支援体制の充実を図ります。

また、智頭病院では、全ての町民が安心して地域で暮らし続けることができるよう、医師・看護師等専門職の確保を図りつつ、一人一人に寄り添った医療の提供に努めるとともに、健全経営に取り組めます。

「一人ひとりの個性を生かしながら支え、つながる家族」の実現については、産前、産後ケアの充実など、妊娠・出産・子育ての各場面で切れ目のない子育て世代包括支援事業を推進するとともに、妊娠時からの伴走型相談支援に取り組めます。

また、子どもを取り巻く環境が複雑化している社会状況を踏まえ、こども家庭福祉事業を強化・拡大するとともに、児童虐待や育児放棄などの対応や、課題を抱える子どもや保護者の対応についても、関係機関と連携の下、きめ細やかな支

援を行います。

「生活の知恵から趣味や仕事まで、暮らしを彩る学びを増やす」の実現については、令和2年11月に開館した「ちえの森ちづ図書館」は、子どもからお年寄りまで、多くの皆様に利用いただき、昨年10月には来館者が20万人を超えました。引き続き、生涯学習の拠点、交流の拠点及び居場所として、住民の皆様と共に事業を展開します。

社会教育事業では、一昨年度設立した学校運営協議会にコーディネーター3名を配置したことで、学校・家庭・地域がさらに連携し、地域とともにある学校づくりを目指します。

また、少年期から老年期までの幅広い世代に教育・体育文化活動の提供・支援を行うとともに、住民の生きがいと生涯学習の欲求に応えるよう、地域や関係団体・外部人材と連携し、事業の充実に努めます。

また、ちづ保育園の全ての園児の保育料及び学校給食費の完全無償化、高校生通学費補助など、新年度も子育て世代の負担軽減に引き続き取り組むとともに、充実した教育環境・教育設備を活用し、智頭町らしい特色ある教育など、安心して子育てができる環境を整備します。

「受け継いできた仕事を活かし、新たなチャレンジを広げる」の実現については、加速化する人口減少、担い手や後継者不足、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、地域経済の立て直しや安定的な経営を継続することは容易ではないことから、今後も引き続き町商工会と連携しながら、事業者のニーズを把握し的確な支援を行います。

さらに、今年度スタートした起業しやすいまちを目指す「CHIPs事業」では、金融機関などとともに、提案のあったビジネスプランに対し伴走支援を行うことで、本町が持続可能であるため、なくてはならない事業や、事業者と地域住民とのつながりを創出し、地域経済の活性化に努めます。

また、令和3年6月に認定を受けた「智頭町複業協同組合」は、マルチフォレストを軸に、現在8名を雇用しているところですが、令和7年度は受入先の拡大について調整を進めるとともに、多業種展開も目指しながら、さらなる雇用拡大を図ります。

林業では、人材の確保や育成のための仕組みを構築しつつ、森林環境譲与税を有効に活用しながら、森林整備や木材利用の推進のための施策を着実に進めます。

農業では、引き続き、遊休農地対策など農地利用の最適化を図るとともに、「ホンモノの農産物」の供給に向けた生産体制づくりを推進するほか、ジビエなど地域資源の活用を進めます。

また、重要文化的景観に選定された「智頭の林業景観」について、選定エリアの拡大を目指します。

「活動を広げる仲間づくり、小さなつながりを幾重にも連ねるコミュニティへ」の実現については、「防災福祉マップ」作成事業の拡充など「地域支え愛活動」や、「おせっかい奨学金制度」をはじめとする「おせっかいのまちづくり」を引き続き推進するとともに、本町独自の住民自治実践活動である、「日本1／0村おこし運動」や「百人委員会」に、多くの皆様の積極的参加を促すなど、活動の質の向上と活性化に取り組みます。

また、空き校舎等の利活用を積極的に支援し、地域の活性化とコミュニティビジネスの展開を図ります。

観光振興については、「観光・移住定住ビジョン」を基本とし、今後の観光施策は移住定住施策との連携が必須であるとの考えの下、「暮らすように観光する」という視点で商品造成を行い、「遊ぶ広報」事業などを通じて、「観光をきっかけに移住へ、そして定住へ」の理念の実現を目指します。

さらに、広域的な観光事業についても、観光協会はもちろん、麒麟のまちDMOや因幡街道三宿連携会議などと連携強化を図りながら、今年開催される大阪・関西万博を目的に来訪される海外からの観光客を山陰の玄関口として受け入れるためのインバウンド対応についても強化を図ります。

また、引き続き、部落差別をはじめとするあらゆる差別やいじめを絶対にゆるさない町を目指し、人権尊重のまちづくりを進めます。

最後に、「町民の安心な暮らし・活動を支えるための、そして未来に受け継ぐ環境整備」については、本格運行開始から3年目になるAI乗合タクシー「のりりん」について、昨年10月からは1か月当たりの延べ利用者数が3,000人を超えており、年間延べ利用者数が増加するものと見込んでいます。

しかし、認知度、利用実績の増加とともに新たな課題も浮き彫りになってきており、持続可能な運営を展開していくためにも、随時検証や見直しを積み重ね、よりよい体制の構築に努めます。

近年、頻発化・激甚化する自然災害の脅威から町民の安全と生命・財産を守る

ため、道路・橋梁・水道などのライフライン整備や除雪体制の強化、自助・共助による地域防災力向上など、ハード・ソフト両面の対策について全力で取り組むとともに、災害に備えた消防・防災体制の整備に努めます。

それでは、提案しています諸議案について、その概要を説明します。

議案第13号 令和7年度智頭町一般会計予算の概要について、「第7次総合計画」の4つの基本理念ごとに説明します。

「森の恵みを活かしたまちづくり」に関しては、我がまちならではの子育て施策である「森のようちえん事業」では、県独自の認証制度による事業者への運営支援のほか、国の保育料無償化に伴う施設等利用給付費を継続して計上しています。

地籍調査事業については、大字福原の一部及び大字三吉の一部並びに大字大呂の一部の一筆地調査を引き続き実施するとともに、新たに大字西野の一部に着手することとしています。

また、山林調査を引き続き智頭町森林組合に委託するとともに、大字大呂の一部平地及び一部山、大字福原の一部平地及び一部山の調査を直営で実施することにより、さらなる事業の進捗を図ることとしています。

林道維持管理事業では、町管理林道の計画的修繕及び民営林道の修繕支援のほか、林道維持管理業務委託を継続して実施し、大規模災害の未然防止を図ります。

公共林道事業では、林道八頭中央線橋梁修繕設計測量と林道西宇塚観音寺線の舗装工事を行い、施業の効率化に寄与することとしています。

林業及び森林関係では、作業道整備や林業機械導入による森林整備の低コスト化支援や、智頭材出荷・製材利用・製品利用などへの支援はもとより、引き続き智頭町複業協同組合と連携しながら「マルチフォレスター」を確保・育成し、林業事業体のニーズに応じて派遣する仕組みづくりを支援することとしています。

また、間伐や作業道の補助金の県かさ上げが一部廃止されることに伴い、森林整備の水準を維持するための支援を行うとともに、森林の適正な管理や利用を推進するため、森林整備が必要な民有林の公有林化の仕組みづくりに試行的に取り組むこととしています。

森林セラピーと民泊については、事業の持続的な運営のため、森のガイドの会の体制強化や、今後の教育旅行の受入れを視野に入れたスキルアップ等を支援することとしています。

農業については、今年度中に策定する地域計画の実施に向けた集落等での話合いのほか、小規模農家を含めた多様な担い手への営農支援を引き続き推進しつつ、地域の集団的な取組や、遊休農地の拡大防止に向けた仕組みづくりを支援します。

また、引き続き農地利用の最適化、鳥獣被害対策、日本型直接支払、自然栽培等の施策に、関係機関と連携しながら取り組みます。

「安全・安心に暮らせる健康長寿のまちづくり」に関しては、まちづくり事務費では、コネクテッドカーの活用により、さらなる住民サービスの向上に努めます。

行政情報システム推進費では、自治体情報システムの標準化移行を推進するとともに、引き続き、内部情報系ネットワークの強靱化を図るなど、行政のスマート化・デジタル化を加速します。

地域情報化推進事業では、住民生活に不可欠なインフラとして定着している光通信基盤の保守管理を行うとともに、利用支援、機器故障などに対応するため、引き続き「地域見守り支援員」1名を配置します。また、今後もIP告知端末を本町デジタル化の基盤としてサービスを提供し、利用促進を図ります。

共助交通運行事業では、「のりりん」の運行を円滑に行うため、引き続き町民ドライバーの確保に努めるとともに、「共助交通推進員」4名を配置し、サービスの向上を図ります。

また、交通政策事務費では、路線バスICOCA（ICカード乗車券）導入費用及び因美線利用促進事業に要する費用を計上するとともに、シルバー人材センターが運営する過疎地有償運送事業の運行支援補助金を計上しています。

税務総務費では、個人住民税の定額減税補足臨時給付を行うほか、地籍調査が終了した那岐地区の課税評価異動に伴う経費などを計上しています。

戸籍住民基本台帳事務では、戸籍への振り仮名表記に係るシステム改修経費のほか、住基ネットシステムの機能改善のための機器更改などの経費を計上しています。

障害福祉費では、障がいのある人が地域で安心して生活できるよう、障害者総合支援法に基づく事業や、相談支援事業など、地域生活支援事業等を引き続き実施します。

老人福祉費では、高齢者が生き生きと元気に地域で暮らしていくため、森のミニデイ、高齢者の生きがいと健康づくりなどの高齢者福祉事業を引き続き実施し

ます。

特別医療費では、令和6年度から無償化した小児をはじめ、障がい者、ひとり親家庭への医療費自己負担分の助成を行います。

子育て支援推進費では、ひとり親家庭や貧困家庭、不登校、ひきこもりなど、最近増え続けている児童虐待や子育てに困難を抱える世帯など、児童を取り巻く状況に対応するため、令和5年度から実施している、子どもに係る必要な相談支援体制整備に継続して取り組むとともに、こどもの居場所づくり事業を実施します。

また、こども家庭センターの設置に伴い、産前産後サポート事業、産後ケア事業を子育て支援事業として一体的に行うとともに、令和6年度から拡充した「妊婦のための支援給付交付金」を引き続き給付するなど、子育て支援策の充実を図ります。

生活保護総務費では、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習支援事業、こどもの居場所づくり事業を実施するとともに、就労支援事業は引き続き直営で実施し、ワンストップ型による伴走的支援を行い、就労につなげます。

また、令和4年度から実施している重層的支援体制整備事業については、地域共生社会の実現に向けて、子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者等の複合的な課題や狭間のニーズに対応した支援を一体的に行い、包括的相談支援体制、参加支援、地域づくり事業を積極的に推進します。

予防費では、各種感染症の蔓延や重症化を防ぐため、インフルエンザワクチン、新型コロナワクチンのほか、新たに定期予防接種となる帯状疱疹ワクチンなど、各種予防接種事業を実施します。

環境衛生費では、火葬業務及び因幡霊場改修事業に係る東部広域行政管理組合負担金を計上するとともに、特定空家等の解体撤去に対する補助金を引き続き計上するなど、危険空き家等の適切な管理を推進します。

また、宅配等の再配達削減に効果のある「置き配」を推進するため、鳥取県と連携した住宅用置き配ボックス設置事業を実施し、脱炭素化に寄与することとします。

母子衛生費では、引き続き妊婦健診等母子保健事業を実施するほか、関係機関と連携し、妊娠期から子育て期までの相談しやすい体制を築き、切れ目のない支

援を行うとともに、子育てモバイルアプリケーション等を活用し、妊娠期からの子育て支援を適時適切に行います。

健康診査事業では、胃がん、大腸がんなど各検診について、引き続き個人負担なしで実施し、受診率の向上を目指すことにより、健康増進を図ることとします。

また、人間ドック、脳ドック、特定健診、後期高齢者健康診査を実施するとともに、健診後の指導の充実に努め、健康な生活を送ることができるよう支援します。

さらに、「高齢者の保健事業と介護予防事業等の一体的な実施事業」を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

じん芥処理事業では、ごみ収集の委託料及び可燃物処理施設運営等に係る負担金を計上しています。

このほか、住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスである、水道、簡易水道、農業集落排水、公共下水道の各事業について、サービスの提供が安定的に継続できるよう、それぞれ繰出金を計上しています。

町道事業では、町道は住民の日常生活及び通勤通学など、生活に欠かせない社会資本であることから、拡幅や歩道整備などの道路改良や維持修繕を行うとともに、橋梁長寿命化計画を更新し、計画的に長寿命化に取り組みます。

地方創生整備推進事業では、県が整備を行う林道に隣接する町道を改良し、森林整備の効率化と、交通安全上の問題解消や地域住民の利便性向上に取り組みます。

除雪事業では、冬期における交通の安全を確保するため、除雪計画に基づき体制の強化を図るとともに、小型歩道除雪機の無償貸与や除雪受託者の大型除雪機オペレーター養成に対する支援を引き続き実施することとしています。

ふるさと整備土木事業では、引き続き、要望に応じ農地・農業用施設を中心に改良・補修を行うことで、営農等の効率化を図るとともに、日常生活に密着した集落管理道や水路施設等の改善支援のため、集落等が行う法定外公共物等の修繕に要する費用の一部に対して「みんなで守るむらづくり基盤整備事業補助金」を継続して交付します。

安全安心なまちづくり推進事業では、令和6年度に住宅耐震化の普及促進を図るために戸別訪問を実施した結果、興味関心を持っていただきました。引き続き、戸別訪問により普及を図り、防災意識の向上に努めることにより、耐震設計、耐

震改修へつなげるなど、住宅の耐震化に取り組みます。

また、危険ブロック塀除去・改修に対する支援を継続して行うほか、集落公民館を含む民間特定建築物のバリアフリー化を推進する「福祉のまちづくり推進事業」も実施します。

消防・防災関係では、消防団の活性化を図るとともに、消防資機材及び防災備蓄品の整備を行い、地域防災力の向上に努めます。

病院施設費では、経営健全化を確保するため、繰出基準に基づく繰出金を計上しています。

「子どもから大人まで 学びと成長のまちづくり」に関しては、百人委員会費では、昨年12月、一般5部会から提案のあった10プロジェクト、智頭中学生、智頭農林高校生による4プロジェクトを支援し、次代を担う中学生・高校生とも連携したまちづくりを推進します。

また、令和7年度は、鳥取大学から企画提案のあった1事業についても伴走支援することとしており、地元大学との連携推進を図ります。

日本1／0村おこし運動では、人的支援として引き続き集落支援員を配置しています。

空き校舎等の利活用については、山形、那岐、山郷地区それぞれの旧小学校施設と富沢コミュニティセンターについて、引き続き地区振興協議会を指定管理者とすることにより、地域と行政の連携を強化します。

智頭農林高校との協働連携事業については、令和4年度、高校魅力化の一環として設置した「BASE Connect」について、高校生の認知度も高まり、集いの場として機能していることから、コーディネーターの配置など、引き続き支援を行います。

また、本年度は県外から2名の生徒が入学されましたが、今春も新たに1名が入学する見込みであることから、学生寮の運営について、県と連携しながら支援することで、学校のさらなる魅力化に努めます。

商工振興費では、町商工会及び商店が中心となって実施している「まちゼミ」や、一般社団法人智頭町観光協会などと連携して特産品開発を実施する経費を継続して支援します。

また、「CHIPS オーディション」で提案があり採択されたビジネスプランの実現化に向け伴走支援を行うとともに、コンソーシアムをはじめとするステー

クホルダー（利害関係者）の活動拠点を整備するなど、商工振興に向けた取組を推進します。

また、令和3年4月に設立した「智頭町複業協同組合」は、現在8名の雇用を創出していますが、今後も雇用拡大を図ります。この取組に対し、国などの制度に基づく運営支援を行うほか、コーディネーターと地域おこし協力隊の配置を継続するとともに、派遣需要の拡大、特に冬場などの派遣先を確保することが課題であることから、組合員である町内事業所の新規事業創出を図るため、国の地域活性化企業人制度を活用した取組に対し支援することとしています。

国際交流事業では、平成11年から始まった大韓民国江原道楊口郡との交流について、新型コロナウイルス感染症の影響により中断を余儀なくされていましたが、令和7年度は職員相互派遣を再開し、楊口郡から1名の職員を受け入れるとともに、文化交流についても実施を予定しています。

また、持続可能な林業経営という共通課題の解決のため、インドネシアとの交流を模索していたところですが、相手国の情勢により大きな進展が見られないことから、令和7年度は交渉の窓口を確保しつつ、その可能性について協議していくこととしています。

学校教育については、小中学校の教育環境の整備・充実に努めるほか、GIGAスクール構想による学校の学びの急速な変化に対応するため、引き続きタブレットの活用にも努めるとともに、外国語指導助手について、1名体制を継続します。

また、学校・家庭・地域等と連携し、児童生徒の様々な問題に取り組むため、スクールソーシャルワーカーや早期支援コーディネーターを継続して配置するほか、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育の充実に努めます。

「地域とともにある学校づくり」を目指した、コミュニティ・スクールの運営に伴い、小中学校の活動を充実・活性化するため、学校コーディネーター1名の配置を継続します。

また、小中学校における通学費、学校給食費を引き続き無償化するとともに、高校生通学費補助など、子育て世帯の負担軽減を図ることとしています。

国際交流事業では、令和元年度を最後に途切れていた楊口郡との中学生交流事業について、今年度5年ぶりに再開し、令和7年度も継続をして実施することとしています。

また、スクールバス運行管理事業では、スクールバス管理運行業務委託料を計

上し、小学校、中学校及び保育園に通う児童生徒園児の利便性向上と安全確保に務めます。

社会教育事業では、コミュニティ・スクールの運営に伴い、学校と地域が相互理解や信頼を深め、活動を充実・活性化するため、地域コーディネーター2名の配置を継続します。

文化財保護事業では、国の重要文化的景観「智頭の林業景観」について、令和3年度に策定した整備計画に基づき、保存と活用を図るとともに、選定エリアの拡大に要する経費を計上しています。

歴史の道整備活用推進事業では、令和6年7月の豪雨により毀損した、史跡「智頭往来志戸坂峠越」の災害復旧工事を引き続き行います。

また、石谷家住宅では、団体客の予約は年々増えつつありますが、入館者増には大きくはつながっていない状況であり、まずは、町内をはじめ県内及び近隣県の個人客の増加を図るため、様々な企画展示を実施し、文化財観光の活性化と魅力の発信を行います。

ちえの森ちづ図書館については、引き続き、子どもからお年寄りまで集い、共に学ぶ環境の整備を進め、町全体の活性化につなげることを目指します。

「地域のつながり、家族のつながりでつくるまちづくり」に関しては、移住定住施策では、歯止めが利かない人口減少を少しでも緩やかな減少とし、令和22年の人口5,000人維持に向け、観光施策との連携を意識しながら施策を進めます。

現在、ゆめが丘に建設中の定住促進住宅2棟が間もなく完成予定ですが、引き続き、遊休地や空き家の利活用についても検討していくこととしています。

そのほか、住宅リフォーム助成をはじめとする各種移住定住対策支援事業では、家財道具等整理補助金の補助上限を見直し、住環境整備に対する負担軽減を図ります。子育て世代に向けて子育てしやすい町をPRすることが特に重要であり、移住定住施策に限らず、福祉施策、教育施策など、全庁的に子育て応援を推進するとともに、魅力発信に努めます。

疎開保険については、現在関東、関西圏を中心に、80口158名の方に参加いただいておりますが、加入者にお送りする新鮮な野菜や米、清酒、加工品などの産品も大変好評を博しています。先の衆議院予算委員会内でも好事例として取り上げられましたが、引き続き加入者の増加を図るため、ツアーだけでなく移住施

策や観光施策と連動してプロモーション活動を行います。

地域福祉施策では、高齢者、障がい者等の生活に必要な交通手段を確保するための支援として、福祉有償移送サービス利用者助成を、引き続き行います。

また、「おせっかいのまちづくり」では、平成27年におせっかい宣言をしてから10年が経過し、その間おせっかい奨学金制度の創設など、全庁横断で推進を図ってきました。今後も、おせっかい奨学金制度を発展させながら、住民一人一人に「いい意味のおせっかい」が広がるように取組の輪を広げていきます。

在宅福祉対策事業では、「地域支え合い基盤づくり事業」、「みんなで支える集落拠点整備事業」及び「わが町支え愛体制づくり事業」を引き続き実施します。

子ども子育て支援分野では、乳児保育、一時保育、病児病後児保育、延長保育を引き続き実施し、多様化する保育ニーズに応えることで保護者の就労を支援するとともに、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター事業を実施し、乳幼児期の子育て世代における、育児不安や子育ての孤立を防ぎ、子どもへの健全な愛着形成を図ります。

また、ちづ保育園における全ての園児の保育料を引き続き完全無償化とするとともに、「我が家で子育て応援給付金」についても支給するなど、子育て世帯の負担軽減に取り組みます。

観光振興については、観光・移住定住ビジョンに基づき、観光・移住定住施策の連携を強化していきます。

いきなり移住にまで至るにはなかなか難しいことから、関係人口創出を強化していくため、今年度「遊ぶ広報」を活用して、地域おこし協力隊インターンに2週間程度本町に滞在していただき、滞在期間にSNSなどで情報発信をしていただく取組を実施しているところですが、令和7年度も継続することとしています。

また、観光協会や麒麟のまちDMOとも連携を強化し、今年開催される大阪・関西万博からの周遊客対応や商品の造成、マーケティング事業、ローカル鉄道利用促進事業、プロモーション活動などを行うための経費を計上しています。

観光施設管理事業では、観光客の利便性向上を図るため、観光施設の維持管理に要する経費を計上しています。

また、智頭急行恋山形駅に新たにトイレが設置されることになり、上下水道接続に要する経費を計上しています。

ふるさと納税については、魅力ある返礼品のさらなる充実を図るほか、委託事

業者を増やすとともに、「智頭町魅力発信事業」とも連携しながら本町の魅力発信を継続して行い、ふるさと寄附額の増加を図ります。

以上、令和7年度智頭町一般会計予算は、予算の適正化に努めながらも、安全安心で、魅力あふれる元気なまちづくりの実現に要する経費を計上したところであり、総額は前年度比1,000万円、0.1ポイント減の68億7,000万円となりました。

次に、特別会計及び企業会計について説明します。

議案第14号 令和7年度智頭町国民健康保険事業特別会計予算では、医療給付費及び令和7年度から段階的に県内で統一される医療給付費負担金を措置するとともに、特定健診、糖尿病性腎症重症化予防事業のほか、未受診者対策を引き続き実施することとしています。

また、特定健診を受けるきっかけづくりとして、受診率向上キャンペーンを行うなど、引き続き受診率向上にむけた取組を進めます。

議案第15号 令和7年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算では、貸付金の収納に要する経費を計上しています。

議案第16号 令和7年度智頭町公共用地先行取得事業特別会計予算では、土地開発基金利子を計上しています。

議案第17号 令和7年度智頭町介護保険事業特別会計予算では、令和6年度から令和8年度までの「第9期智頭町高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを推進するため、介護サービス、介護予防サービスの給付費のほか、要支援者等に対する介護予防、日常生活支援総合事業に係る経費を計上しています。

増加する認知症への対策として、引き続き認知症地域支援推進員1名を配置し、認知症予防教室等の予防事業の推進とともに、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症総合支援事業を推進します。

また、地域での介護予防、重度化防止のための取組を引き続き智頭病院と連携し推進します。

議案第18号 令和7年度智頭町介護保険サービス事業特別会計予算では、智頭心和苑及び智頭デイサービスセンターの維持管理に要する経費のほか、ナースコール設備の更新に係る経費を計上しています。

議案第19号 令和7年度智頭町後期高齢者医療特別会計予算では、後期高齢者医療広域連合の運営に要する経費を計上しています。

議案第20号 令和7年度智頭町簡易水道事業会計予算では、各施設の水質検査など維持管理に要する経費のほか、経営戦略改定業務の経費を計上しています。

議案第21号 令和7年度智頭町公共下水道事業会計予算では、施設の維持管理及び起債償還に要する経費のほか、経営戦略改定業務経費、智頭浄化センターコンデンサの更新に要する経費などを計上しています。

議案第22号 令和7年度智頭町農業集落排水事業会計予算では、施設の維持管理及び起債償還に要する経費のほか、経営戦略改定業務経費、農業集落排水事業維持管理適正化計画の見直しに要する経費、県道津山智頭八東線改良工事「西野橋架け替え」に伴う下水道管移設工事費を計上しています。

議案第23号 令和7年度智頭町水道事業会計予算では、施設の維持管理及び老朽管の修繕に要する経費のほか、経営戦略改定業務経費、智頭町水道事業基本計画に基づく、上水道配水管新設工事に要する経費、鳥取県が行う大目谷砂防工事に伴う支障水道管移設工事費を計上しています。

議案第24号 令和7年度智頭町病院事業会計予算では、外来及び入院に加え、訪問診療や訪問看護、その他のサービスの連携により在宅での療養生活をサポートする体制を整えるとともに、医師・看護師等専門職確保に要する経費のほか、電子カルテの更新・医療機器の整備及び施設の維持管理、起債償還に要する経費を計上しています。

次に、議案第25号 令和6年度智頭町一般会計補正予算（第8号）について主なものを説明します。

まちづくり推進費の地域情報化推進事業では、IRUスポット保守などの手数料の増額を計上しています。

交通政策費の交通政策事務費では、智頭鳥取間のバス運行実績に伴う補助金の増額を計上しています。

民生費の社会福祉総務費では、新たな非課税世帯等への給付金の減額を、障害福祉費では、障害者給付費の実績見込みによる扶助費の増額を計上しています。

老人福祉費では、生活管理指導短期宿泊事業委託料について、実績見込みにより増額を計上しています。

生活保護総務費では、家計負担激変緩和対策給付金として扶助費等の増額を計

上しています。

衛生費の保健衛生総務費では、休日急患歯科診療所負担金の実績見込みによる増額を計上しています。

健康増進事業費では、後期高齢者健康診査委託料の実績による増額を、病院施設費では、物価高騰対応に係る病院事業会計繰出金の増額をそれぞれ計上しています。

農林水産業費の林業振興費、地域通貨による地域経済活性化促進事業では、エネルギーや食料品価格等の物価高騰により疲弊した地域経済の活性化のため、地域通貨「杉小判」を1人5枚、5,000円分を全町民に配布する経費を計上しています。

土木費の社会資本整備総合交付金事業及び道路メンテナンス補助事業では、国交付金配分額確定による事業費の調整を行っています。

また、都市計画費では、国の補正予算において国庫補助金が確保できたことにより、設計監理委託料の増額を計上しています。

そのほか、各費目全般にわたって、決算見込みに基づき、人件費を含む事業費の調整を行っています。

以上、今回の一般会計補正予算額は、2億6,337万5,000円の減額であり、補正後の予算総額は、70億3,890万9,000円となります。

また、議案第26号から第33号までは、特別会計及び企業会計の補正予算であり、主に決算見込みに基づくものです。

次に、条例案件について説明します。

議案第34号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定については、刑法等の一部を改正する法律の施行により、禁錮刑及び懲役刑を拘禁刑に一本化されることに伴い、所要の改正を行うものです。

議案第35号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正については、監査委員について、報酬額を近隣町村の平均額と同等程度にするほか、国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅費に要する実費を弁償することにするものです。

議案第36号 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正及び議案第37号 智頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正については、いずれも国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅費に要する実

費を弁償することにするものです。

議案第38号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正については、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するため、また、介護と仕事が両立できる環境整備のため改正を行うものです。

議案第39号 智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正については、令和6年度に整備した「智頭町定住促進賃貸住宅」2棟を追加するものです。

議案第40号 企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正については、医療従事者の確保を図るため、手当の支給に関し処遇改善手当を新設するとともに、初任給調整手当を医師以外の専門職についても支給対象とするため、所要の改正を行うものです。

次に、人事案件について説明します。

議案第41号 智頭町副町長の選任については、現副町長矢部整氏の任期が本年3月31日で満了となることに伴い、引き続き同氏を選任したいので、本議会の同意を求めるものです。

議案第42号 智頭町監査委員の選任については、現委員小林新氏の任期が令和7年5月31日で満了となるため、引き続き同氏を選任したいので、本議会の同意を求めるものです。

議案第43号 智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任については、現委員金允基氏の任期が本年6月18日で満了となることに伴い、引き続き同氏を選任したいので、本議会の同意を求めるものです。

最後に、その他案件についてです。

議案第44号 第4次智頭町行財政改革プランの改訂については、終期を第7次智頭町総合計画と合わせるため、令和8年度までの2年間プランを延長することに伴い、所要の改正を行うことについて、議会の議決を求めるものです。

議案第45号及び議案第46号は、公の施設における指定管理者の指定についてです。指定管理者については、智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンターほか1施設の指定先をそれぞれ選定したので、本議会の議決を求めるものです。

議案47号 町道の路線の変更については、町道山崎支線・町道山崎向河原線

2路線を変更することについて、本議会の議決を求めるものです。

議案48号 字の区域の変更については、大字大呂地内の地籍調査事業実施に伴い、大字大呂地内の字の区域を一部変更することについて、本議会の議決を求めるものです。

以上、本議会に提案しました諸議案の概要を説明しました。

詳細については、主管課長及び担当者をもって説明させますので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○議長（谷口雅人） 施政方針並びに提案理由の説明は終わりました。

次に、日程第5、議案第13号から日程第16、議案第24号までの12議案の補足説明及び質疑を行います。

質疑は会議規則第55条の規定により、一問一答で行います。

なお、発言時間について、会議規則第56条の規定により、議長において制限を設けることがあります。ご承知ください。

また、一般会計予算の質疑については、歳入、歳出、債務負担行為から地方債の3区分。その他、特別会計予算、事業会計予算については、歳入、歳出に分けて行いたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 異議なしと認めます。

なお、質疑に当たりましては、必ずページ数を示してください。

日程第5、議案第13号 令和7年度智頭町一般会計予算の補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） それでは、議案第13号 令和7年度智頭町一般会計予算につきましては、別に配付しております令和7年度当初予算の概要の説明により、補足説明とさせていただきますので、こちらをご覧いただきたいと思えます。

令和7年度当初予算は、先ほど町長が提案理由で述べましたとおり、歳入に見合った歳出が基本であることを念頭に、必要性や緊急性を考慮し、経費の精査や事業の統廃合など徹底して事業を見直すなど、無駄を排除して、予算の適正化に努めております。

また、近年の大規模ハード事業に係る起債償還開始などにより、実質公債費率の上昇が予想されるため、過疎債など起債発行を計画的に行う予定としています。

厳しい財政状況が続いていますが、「第7次智頭町総合計画」及び「第2期智頭町総合戦略」を踏まえた諸施策・事業を着実に実施していく予算編成を行っております。

令和7年度一般会計予算は、総額68億7,000万円、対前年度比マイナス0.1ポイント、1,000万円の減額となっています。これは、主に標準準拠システム環境構築委託料、各種予防接種委託料、地籍調査事業、智頭中学校体育館空調設備工事などが増額したものの、定住促進住宅新築工事、物価高騰対応に伴う住民税非課税世帯等給付金、防災公園事業、勤労者体育館空調設備工事などが大きく減額したことにより、全体で減額となったものです。

それでは、1ページの歳入から説明をさせていただきます。

なお、円グラフ下の欄に、増減の主なものを掲げておりますので、併せてご覧いただきたいと思っております。

町税につきましては、前年度比約1.1%、693万円増の6億2,776万2,000円を見込んでおります。これは、町県民税について、確定申告者の所得の増、並びに令和6年度個人住民税の定額減税分の縮小により、前年比13.3%、2,481万9,000円の増額を見込んでいます。

固定資産税については、償却資産の減額が引き続き見込まれる中、地価下落の影響等により、前年度比マイナス4%、1,461万7,000円の減額を見込んでいます。

また、たばこ税については、令和6年度の実績見込みを勘案し、前年度比マイナス10.6%、396万6,000円の減額を見込んでいます。

地方譲与税につきましては、前年度比0.2%、26万4,000円増の1億1,667万5,000円を見込んでいます。これは、自動車重量譲与税の増加が主なものです。

地方特例交付金等は、前年度比マイナス1%、202万2,000円減の2億197万3,000円を見込んでいます。これは、主に定額減税措置分が減少したことによるものです。

地方交付税は、前年度比6.5%、2億円増の32億8,000万円を見込んでいます。これにつきましては、令和7年度地方財政計画によると、地方交付税

は、前年度比約1.7%増が示されており、また、近年の実績ベースでも32億円を超えているため、人口減などの減額要素があるものの、大幅な増額を見込んでいます。

分担金及び負担金は、前年度比マイナス12.8%、331万6,000円減の2,250万8,000円を見込んでいます。主に、老人保護措置費負担金の減によるものです。

国庫支出金は、前年度比17.3%、1億471万7,000円増の7億930万6,000円を見込んでいます。これは、国宝重要文化財等防災施設整備費補助金が皆減により減となったものの、自治体情報システムの標準化移行に伴うデジタル基盤改革支援補助金のほか、児童手当負担金などの増加により増となっています。

県支出金は、前年度比マイナス2.7%、1,614万7,000円減の5億8,665万4,000円を見込んでいます。これは、みんなで取り組む将来に向けた活力促進事業補助金、地籍調査事業費補助金、参議院議員通常選挙費委託金、国勢調査費委託金などが増加したものの、森づくり作業道整備事業補助金、国際競争力・木材供給基盤強化対策等事業費補助金など減少により、減となっています。

次に、繰入金のうち基金繰入金は、前年度比マイナス16.9%、1億7,974万6,000円減の8億8,727万円を計上しています。これは、森林整備促進基金繰入金は増となったものの、財政調整基金繰入金2億1,000万円の減少により、減となっています。

前年度繰越金は、前年度比マイナス66.7%、2,000万円減の1,000万円を見込んでいます。

町債は、前年度比マイナス30.8%、1億2,470万円減の2億8,070万円を計上しています。これは、緊急浚渫推進事業債などが増加するものの、定住促進事業に充当する過疎債、防災公園整備事業及び体育館空調整備事業に充当する緊急防災減災事業債などの減が大きな要因です。

臨時財政対策債は、皆減となっています。平成13年度の制度創設以来、初めて国の発行額がゼロになったため、皆減となっています。

続きまして、歳出の状況のうち、2ページの性質別について概要を説明します。まず、人件費です。6,443万7,000円の増額となっておりますが、給

与改定及び昇給に伴う職員給、会計年度任用職員報酬及び手当などの増が主な要因であります。

物件費につきましては、小学校事業などの消耗品費、保健センター管理事業、中央公民館費、文化財整備活用事業、学校給食費などの修繕料が減少したものの、標準準拠システム環境構築委託料、予防接種委託料、地籍調査事業、社会資本整備総合交付金事業などの委託料などが増加したことに伴い、1億1,767万円の増額となっております。

扶助費につきましては、特別医療助成費、母子生活支援施設入所扶助費などが減少したものの、障害者給付費、児童手当などが増となり、3,575万5,000円の増額となっております。

補助費等につきましては、1億4,028万6,000円の大幅な減額となっておりますが、マイナンバーシステム利用負担金、空き校舎等利活用実践事業費補助金、定額減税調整交付金などが増となったものの、後期高齢者医療広域連合負担金、農業集落排水事業会計繰出金、公共下水道事業会計繰出金などの減により、大幅な減額となっております。

普通建設事業につきましては、中学校体育館空調設備工事などが増加したものの、定住促進住宅新築工事及び設計監理、防災公園整備事業、文化財整備活用事業工事及び設計監理などが減少したことにより、9,300万円の減額となっております。

公債費につきましては、647万2,000円増額となっておりますが、これは、過疎債ハード、これは、可燃物処理施設整備負担金、空き校舎等利活用推進事業です。及び過疎債ソフト、智頭材出荷促進事業補助金、観光協会補助金などの元金償還開始に伴い、増となるものであります。

積立金及び貸付金については、1,111万9,000円の増額となっております。定住促進基金積立金は減少したものの、財政調整基金積立金、ふるさと基金積立金などの増額によるものでございます。

繰出金につきましては、介護保険特別会計繰出金が増額となっているものの、後期高齢者医療広域連合負担金、後期高齢者医療特別会計繰出金が減額となったことにより、618万3,000円の減額となっております。

次に、3ページをご覧ください。目的別歳出の状況です。

議会費は、前年度比652万円増の8,561万5,000円を計上していま

す。主に、議員報酬、手当など、7月以降改定されますが、定数減により全体では減となるものの、タブレット端末の導入、楊口郡議会交流などにより増となっております。

総務費は、前年度比1億6,113万2,000円増の10億7,655万6,000円を計上しています。これは、定住促進住宅新築工事・設計監理などの移住定住促進事業などが減少したものの、標準準拠システム環境構築委託料、ガバメントクラウド使用料などに伴う行政情報システム推進費の増、令和6年分所得税及び定額減税実績額等の確定後、当初給付額に不足がある者に対して給付をする定額減税調整給付金など、定額減税補足臨時給付金事業の増などによるものです。

民生費は、前年度比2,198万5,000円減の15億2,509万7,000円を計上しています。支給対象拡大に伴う児童手当給付事業が増となったものの、住民税非課税世帯等給付金の皆減などに伴う社会福祉総務費の減、後期高齢者医療広域連合負担金の減に伴う後期高齢者医療事務事業の減額によるものです。

衛生費は、前年度比2,802万1,000円増の9億2,238万6,000円を計上しています。主に帯状疱疹ワクチンの定期接種など、予防接種事業の増加によるものです。

農林水産業費は、前年度比3,782万3,000円減の8億8,265万5,000円を計上しています。増減額の主な事業は、事業計画の増加に伴い、美しい森林づくり基盤整備交付金推進補助金、地籍調査事業などが増となったものの、農業集落排水事業会計繰出金が減少し、全体では減となるものです。

商工費は、前年度比884万8,000円減の1億4,065万6,000円を計上しています。減額の主な事業は、新型コロナウイルス感染症等対応利子補給補助金、特定地域づくり事業補助金などの減による商工振興費の減、遊ぶ広報事業委託料、観光協会補助金などの減など、観光事業の減によるものです。

土木費は、前年度比868万7,000円増の5億7,901万5,000円を計上しています。増減額の主な事業は、公共下水道事業会計繰出金などの減に伴う下水道整備事業、工事請負費の減による道路メンテナンス補助事業が減となったものの、工事請負費の増に伴う社会資本整備総合交付金事業及び地方創生整備推進交付金事業などの増などによるものです。

消防費は、前年度比4,569万8,000円減の1億8,311万円を計上しています。減額の主な事業は、旧あたご保育園解体工事及び防火水槽設置工事、監理委託料の減による防災費の減によるものです。

教育費は、前年度比1億647万8,000円減の6億1,082万1,000円を計上しています。増減の主なものは、体育館空調工事の増による中学校事業などの増、石谷家住宅塀応急修繕等の修繕料、重要文化的景観整備事業補助金などの減による文化財整備活用事業の減、勤労者体育館空調工事完了に伴う体育振興費の減、修繕料及び備品購入費などの減に伴う学校給食費の減によるものです。

公債費は、前年度比647万2,000円増の8億6,188万9,000円を計上しております。これは、地方債償還元金が過疎債ハード、過疎債ソフトの元金償還開始に伴い、647万2,000円の増となることによるものです。

次に、4ページをご覧ください。

基金の現状につきましては、普通会計における令和7年度末の基金残高は約15億1,000万円で、令和6年度末見込額から約7億7,900万円の減少を見込んでおります。これは、財政調整基金7億4,000万円、教育施設整備基金5,000万円、定住促進基金1,719万円など、約8億8,727万円を取り崩す予定としていることによるものであります。

なお、積立てについては、定住促進基金約1,500万円、地域活性化基金約2,000万円、ふるさと基金約1,200万円など、合計約6,660万円を予定しております。

また、令和6年度3月補正後の基金残高は約22億8,900万円で、前年度から約4億5,000万円の減少を見込んでおりますが、今後、特別交付税の令和6年度3月分が交付されますので、年度末の決算状況等を勘案して、基金取崩し額の圧縮を検討することとしており、決算時においては、基金残高減少をできるだけ抑えたいと考えております。

公債費の状況につきましては、普通会計における令和7年度の公債費は、令和6年度に比べ、約700万円増額の約8億6,200万円を見込んでおります。

また、一般会計における令和7年度中起債予定額は2億8,070万円で、元金償還予定額は8億2,566万円であり、差引き令和7年度末の起債残高は71億4,200万円を見込んでおります。

以上で、令和7年度一般会計予算の補足説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、債務負担行為から地方債についての質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

最後に、再度一般会計全般にわたっての質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第6、議案第14号 令和7年度智頭町国民健康保険事業特別会計予算の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第14号 令和7年度智頭町国民健康保険事業特別会計予算です。

予算書は、154ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ7億2,785万4,000円とするものです。令和7年1月末現在の国保加入世帯は969世帯、被保険者数が1,421名で、この方々の国保事業に係る経費となっております。

歳出につきましては、165ページからとなります。

総務費につきましては、職員人件費、窓口業務に係る会計年度任用職員報酬、共同電算処理手数料、システム保守委託料、国保連合会負担金等を措置しております。

167ページからの保険給付費につきましては、医療費の伸び率等を県が算定した額を計上したもので、算定金額は、令和3年度から令和5年度の医療費が基となっており、今年度は増額となっております。

169ページからの国民健康保険事業費納付金につきましては、市町村が支払う保険給付費を県が市町村に交付するための財源として徴収するものです。金額は、令和5年度の保険給付費を基に県が算定したもので、県全体の保険給付費の必要額を所得水準や医療費水準を考慮して各市町村に配分していますが、この納付金が令和7年度から段階的に県内で統一されることから、一般被保険者分が昨年度よりも増加しています。

170ページからの保健事業費の保健衛生普及費では、健康管理システム委託料を、医療費適正化事業費では、糖尿病性腎症の悪化を防止し、人工透析への移行防止することを目的に、糖尿病性腎症重症化予防事業の委託料を計上しています。

また、特定健診等事業費では、特定健診委託料とともに、引き続き特定健診受診率向上のため、未受診者対策等を専門機関に委託し、受診率向上キャンペーンを実施するための経費を計上しています。

歳入につきましては、160ページから164ページとなります。

国保税及び保険給付に伴う県支出金、一般会計繰入金、基金繰入金等で措置しています。

説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

暫時休憩します。

休 憩 午前11時59分

再開 午後 1時00分

○議長（谷口雅人） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第7、議案第15号 令和7年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） 予算書181ページをご覧ください。

予算説明資料につきましては、特別会計予算資料の14、15ページでございます。

議案第15号 令和7年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算であります。

歳入歳出予算の総額を、それぞれ120万6,000円としております。

まず、歳出についてですけれども、187ページをご覧ください。

住宅新築資金貸付事業、宅地取得資金貸付事業の一般会計の繰出金をそれぞれ計上しております。

また、住宅新築資金償還推進助成事業では、貸付金償還推進に係る職員人件費と事務費を計上しております。

次に、歳入についてですけれども、186ページのとおり、県補助金、貸付金元利収入をもって措置しております。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第8、議案第16号 令和7年度智頭町公共用地先行取得事業特別会計予算の補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） それでは、予算書196ページをご覧ください。

議案第16号 令和7年度智頭町公共用地先行取得事業特別会計予算につきましては、歳入歳出の総額を、それぞれ5万1,000円とするものであります。

次に、199ページ及び200ページをご覧ください。

歳入歳出それぞれに5万1,000円を計上しておりますが、これは、土地開発基金から生じる利子を土地開発基金に積み立てるものであります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第9、議案第17号 令和7年度智頭町介護保険事業特別会計予算の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第17号 令和7年度智頭町介護保険事業特別会計予算です。

予算書は、201ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ10億5,834万1,000円とするものです。この会計は、65歳以上の第1号被保険者及び40歳以上65歳未満の2号被保険者の介護保険事業に係る経費を賄うものです。

歳出につきましては、211ページからとなります。

総務費では、会計年度任用職員報酬、職員の人件費、電算事務に要する経費のほか、介護認定審査・調査等に関する費用を計上しています。

213ページからの保険給付費につきましては、令和6年度の給付状況を基に各サービス費を計上しており、令和6年度の介護報酬改定の影響もあって、全体としては増額となっております。

215ページからの地域支援事業につきましては、介護予防生活支援サービス事業費で、要支援者の通所介護相当サービス、訪問介護相当サービス、通所介護サービスに係る費用を計上し、また、そのプラン作成に係る経費を介護予防ケアマネジメント事業で計上しております。

216ページの一般介護予防事業費では、高齢者実態調査に係る費用の計上と、認知症予防のための脳の健康教室、温水プールや運動による介護予防教室及び地域リハビリテーション活動支援事業の委託料を計上し、介護予防活動の推進に努めます。

217ページの任意事業では、独り暮らしの高齢者に配食を行い、見守り活動を行う食の自立支援事業や、要介護度4・5の人を自宅で介護されている非課税世帯の家族に介護用品を支給するための経費等を計上しています。

218ページからの認知症総合支援事業費では、引き続き、認知症地域支援推進員を1名配置し、認知症予防教室等の実施とともに、認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症総合事業をさらに推進するための経費を計上しています。

220ページの諸支出金につきましては、一般会計繰出金で、一般会計で介護分重層的支援体制整備事業を行うための経費を計上しています。

歳入につきましては、207ページから210ページとなります。

保険料及び国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金等で措置していません。

説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第10、議案第18号 令和7年度智頭町介護保険サービス事業特別会計

予算の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第18号 令和7年度智頭町介護保険サービス事業特別会計予算です。

予算書230ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ7,427万5,000円とするものです。この会計は、心和苑及び智頭デイサービスセンターの維持管理に要する経費を計上しております。

歳出につきましては、237ページになります。

サービス事業費で、指定管理施設である心和苑デイサービスセンターの修繕料、心和苑ナースコールの更新に係る工事請負費及び介護サービス事業運営基金積立金等を計上しています。

歳入につきましては、236ページになります。

介護サービス事業運営基金繰入金、社会福祉協議会からの寄附金及び町債等で措置しています。

説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第11、議案第19号 令和7年度智頭町後期高齢者医療特別会計予算の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第19号 令和7年度智頭町後期高齢者医療特別会計予算です。

予算書239ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ1億2,265万6,000円とするものです。

歳出については、245ページになります。

この会計は、75歳以上の方や、一定の障がいなどにより認定を受けた65歳以上の方の医療費について、保険料や負担金として、鳥取県後期高齢者医療広域連合に納める経費を計上しています。

歳入につきましては、244ページになります。

保険料及び繰入金等で措置しています。

説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第12、議案第20号 令和7年度智頭町簡易水道事業会計予算の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） それでは、令和7年度簡易水道事業会計予算の補足説明をさせていただきます。

予算書を1ページをご覧ください。

議案第20号 令和7年度智頭町簡易水道事業会計予算であります。

まず、収益的収入及び支出については、簡易水道事業収益を2,322万5,000円、簡易水道事業費用を2,432万5,000円としております。

続いて、資本的収入及び支出については、資本的収入を224万円、資本的支出を114万円としております。

なお、収益的支出の公営企業会計業務委託料の112万2,000円の財源に充てるため、企業債110万円を借りることとしております。

詳細につきましては、予算書 22 ページをご覧ください。

収益的支出については、おおむね例年どおりであります。総経費の委託料について、新たに経営戦略改定支援業務を計上しております。

収入については、21 ページになります。

給水使用料、他会計補助金、長期前受金戻入をもって措置しております。

続いて、23 ページをご覧ください。

資本的支出につきましては、企業債の元金償還金を計上しています。

収入については、企業債並びに他会計補助金ををもって措置しております。

説明は以上であります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第 13、議案第 21 号 令和 7 年度智頭町公共下水道事業会計予算の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） それでは、令和 7 年度公共下水道事業会計予算の補足説明をさせていただきます。

予算書 1 ページをご覧ください。

議案第 21 号 令和 7 年度智頭町公共下水道事業会計予算であります。

まず、収益的収入及び支出については、下水道事業収益を 2 億 1,707 万 1,000 円、下水道事業費用を 2 億 1,817 万 1,000 円としております。

続いて、資本的収入及び支出については、資本的収入を 1 億 7,734 万 3,000 円、資本的支出を 1 億 7,624 万 3,000 円としております。

なお、収益的支出の公営企業会計業務委託料の 112 万 2,000 円の財源に充てるため、企業債 110 万円を借り入れることとしております。

詳細につきましては、予算書 22 ページから 25 ページをご覧ください。

公共下水道施設の長寿命化、維持管理及び改修につきましては、令和 6 年度に改定します智頭町下水道ストックマネジメント計画に基づき事業を進めてまいります。

まず、収益的支出の維持管理につきましては、おおむね例年どおりであります
が、総経費の委託料について、新たに経営戦略改定支援業務を計上しております。

また、営業外費用では、企業債の利息等を計上しております。

収入につきましては、21 ページになります。

下水道使用料並びに他会計補助金、長期前受金戻入等をもって措置しております。

続いて、資本的支出につきまして、25 ページをご覧ください。

管路建設改良費の工事請負費では、上町 1 号マンホールポンプの取替修繕工事費を計上しております。

また、処理場建設改良費では、智頭浄化センターコンデンサの更新、地下汚泥ポンプの取替修繕工事と、これら改良工事に伴う設計委託料を計上しております。

企業債償還金では、建設企業債元金償還金を計上しております。

収入につきましては、企業債、資本費平準化債、他会計補助金、国庫補助金等をもって措置しております。

以上であります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第 14、議案第 22 号 令和 7 年度智頭町農業集落排水事業会計予算の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎）　それでは、予算書の1ページをご覧ください。

議案第22号　令和7年度智頭町農業集落排水事業会計予算であります。

まず、収益的収入及び支出については、下水道事業収益を2億4,301万4,000円、下水道事業費用を2億4,411万4,000円としております。

続いて、資本的収入及び支出については、資本的収入を2億3,476万6,000円、資本的支出を2億3,366万6,000円としております。

なお、収益的支出の公営企業会計業務委託料の112万2,000円の財源に充てるため企業債110万円を借り入れることとしております。

詳細につきましては、22ページから25ページをご覧ください。

収益的支出につきましては、維持管理費に要する経費等、おおむね例年どおりであります。

総係費の委託料について、新たに経営戦略改定支援業務、農業集落排水施設維持管理適正化計画策定業務委託料を計上しております。

また、営業外費用では、企業債の利息等を計上しております。

収入については、21ページになります。

下水道使用料、他会計補助金並びに国庫補助金、長期前受金戻入等をもって措置しております。

続いて、25ページをご覧ください。

資本的支出については、県道津山智頭八東線改良工事の西野橋架け替えに伴います下水道管の移設工事費並びに設計委託料を計上しております。

また、企業債償還金では、建設企業債元金償還金を計上しております。

収入につきましては、資本費平準化債、企業債、他会計補助金等をもって措置しております。

説明は以上であります。

○議長（谷口雅人）　説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人）　質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

日程第15、議案第23号 令和7年度智頭町水道事業会計予算の補足説明を求めます。

西川水道課長。

○税務住民課長兼水道課長(西川公一郎) 予算書1ページをご覧ください。

議案第23号 令和7年度智頭町水道事業会計予算であります。

まず、収益的収入及び支出については、水道事業収益を9,165万6,000円、水道事業費用を8,829万4,000円としております。

1ページめくっていただきまして、資本的収入及び支出につきましては、資本的収入を2,000万円、資本的支出を3,999万3,000円としております。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足します1,999万3,000円は、消費税及び地方消費税、資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填しております。

詳細につきましては、予算書22ページから25ページをご覧ください。

収益的支出につきましては、施設の維持管理費等おおむね例年どおりであります。総係費の委託料について、新たに経営戦略改定支援業務を計上しております。

収入につきましては、21ページになりますが、給水使用料並びに職員給与費について、他会計補助金、長期前受金戻入等をもって措置しております。

続いて、26ページをご覧ください。

資本的支出については、建設改良費において、水道事業計画に基づき、老朽管の布設工事並びに設計費用を計上しております。

また、県工事の大目谷川砂防工事に伴う支障水道管移設工事費を計上しております。

企業債償還金では、元金償還金を計上しております。

収入につきましては、工事負担金をもって措置しております。

説明は以上であります。

○議長(谷口雅人) 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

日程第16、議案第24号 令和7年度智頭町病院事業会計予算の補足説明を求めます。

福安病院事務部長。

○病院事務部長(福安教男) 予算書1ページをご覧ください。

議案第24号 令和7年度智頭町病院事業会計予算でございます。

収益的収入の額を19億8,470万2,000円、収益的支出を21億4,375万8,000円としますとともに、2ページに移りまして、資本的収入の総額を5億3,025万1,000円、資本的支出の総額を6億1,854万2,000円とするものでございます。前年度実績を反映する形で収支を積み上げております。

業務の予定量としましては、1ページに戻りまして、年間患者数と利用者数を掲げております。これを利用率に換算しますと、年間平均で一般病棟で82%、療養病棟で86%、老人保健施設で98%というような利用率を見込んでおります。

外来患者数におきましては、1日当たり155人という患者数を見込んでおります。

補足説明は以上でございます。

○議長(谷口雅人) 説明は終わりました。

これから、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

これで補足説明及び質疑を終わります。

日程第5、議案第13号から日程第16、議案第24号までの12議案については、委員会条例第5条の規定により、この際、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、会議規則第39条第1項の規定により、これに付託して審査したいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 異議なしと認めます。

よって、本案は予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

暫時休憩します。

休 憩 午後 1時26分

再 開 午後 1時26分

○議長(谷口雅人) 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど設置した予算特別委員会の互選の結果、正副委員長が決まりましたのでご報告します。

委員長に、安道泰治議員、副委員長に谷口翔馬議員、以上のとおりです。

日程第17、議案第34号から日程第31、議案第48号まで 15案
一括上程

○議長(谷口雅人) 日程第17、議案第34号から日程第31、議案第48号までの15議案の補足説明及び質疑を行います。

日程第17、議案第34号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長(國岡厚志) それでは、議案書1ページをご覧ください。併せて、

議案説明資料 1 ページ上段もご覧いただきたいと思います。

議案第 3 4 号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてです。

刑法等の一部を改正する法律の施行により、禁錮刑及び懲役刑を拘禁刑に一本化されることに伴い、所要の改正を行うものです。

概要につきましては、議案説明資料 1 ページの 2. 概要にある 2 項目のとおりです。

詳細につきましては、議案書 2 ページから 6 ページのとおり、職員の給与に関する条例の一部改正、智頭町個人情報保護法施行条例の一部改正、智頭町褒彰の一部改正、智頭町水道水源保護条例の一部改正をご覧ください。

施行の期日は、刑法等の一部を改正する法律の施行の日であります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第 1 8、議案第 3 5 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 議案書 7 ページをご覧ください。併せて、議案説明資料 1 ページの下段もご覧いただきたいと思います。

議案第 3 5 号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についてです。

これにつきましては、監査委員の報酬額を近隣町村の平均額と同等程度にするほか、国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅費に要する実費を弁償することにするものです。

概要につきましては、議案説明資料 1 ページの 2 の概要にあるとおり、監査委員報酬額の改正でございます。議会議員のうちから選任された監査委員について、「2 万 7, 2 0 0 円」を「2 万 8, 0 0 0 円」に改めるものでございます。

また、知識経験を有する者のうちから選任された監査委員について、「4 万円」

を「4万4,000円」に改めるものでございます。

(2)の旅費についてです。「宿泊料」を「宿泊費」に改めるものであります。また、「甲乙地方により定めていたもの」を「都道府県により定めるもの」といたします。

イでは、「日当」を「宿泊手当」に改めるものです。「1日につき2,200円」としていたものを「1夜につき2,400円」とするものでございます。

また、鉄道賃、船賃、航空賃、その他の交通費について、要する実費により支給するように改めるものでございます。

詳細につきましては、議案書8ページから11ページをご覧ください。

施行の期日は、令和7年4月1日からであります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第19、議案第36号 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 議案書12ページをご覧ください。併せて、議案説明資料2ページをご覧くださいと思います。

議案第36号 特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正につきましては、国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅費に要する実費を弁償することにするものであります。

概要につきましては、議案説明資料1ページの2の概要にあるとおり、「宿泊料」を「宿泊費」に改めるものでございます。

また、「日当」を「宿泊手当」に改めるものでございます。

「1日につき2,200円」としていたものを「1夜につき2,400円」とするものであります。

また、それぞれ鉄道賃等を要する実費により支給するものとするものであります。

詳細につきましては、議案書13ページから15ページをご覧ください。

施行の期日は、令和7年4月1日からであります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第21、議案第38号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） それでは、議案書36ページをご覧ください。併せて、議案説明資料4ページ上段もご覧いただきたいと思います。

議案第38号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正につきましては、育児休業、介護休業等、育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するため、また、介護と仕事が両立できる環境整備のため、改正を行うものであります。

概要につきましては、議案説明資料4ページの2. 概要にあるとおり、超過勤務免除について、対象を3歳に満たない子のある職員であったものを、小学校就学の始期に達するまでの子のある職員に拡大するものでございます。

また、配偶者等が介護を必要とする状況に至った職員等に、介護両立支援制度または措置について周知しなければならないものとするものでございます。

詳細につきましては、議案書37ページから39ページをご覧ください。

施行の期日は、令和7年4月1日からであります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第22、議案第39号 智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する

条例の一部改正についての補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） 議案書40ページからご覧ください。

また、議案説明資料概要につきましては、4ページの下段になります。

議案第39号 智頭町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正につきましては、令和6年度に新たに定住促進賃貸住宅2棟を整備したことに伴い、改正を行うものです。

概要につきましては、議案書の41ページから42ページをご覧ください。

新たに整備しました2棟を別表に追加するものでございます。

施行期日につきましては、公布の日です。

説明は以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第23、議案第40号 企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正についての補足説明を求めます。

福安病院事務部長。

○病院事務部長（福安教男） 議案書43ページをご覧ください。

議案第40号でございます。企業職員等の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて、地方自治法第96条第1項の規定により、本議会の議決を求めるものです。

議案説明資料5ページ上段を併せてご覧ください。

医療従事者の確保を図るため処遇改善手当を新設するとともに、初任給調整手当について、医師のみを対象としていたものを、医師以外の専門職を支給対象とするための改正を行うものです。

欠員の補充が困難であると認められる職員を対象としますが、現在のところ、薬剤師を対象とすることとしております。

補足説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

暫時休憩します。

休 憩 午後 1時40分

再 開 午後 1時41分

○議長(谷口雅人) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第24、議案第41号 智頭町副町長の選任についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長(國岡厚志) 議案書45ページをご覧ください。

議案第41号 智頭町副町長の選任につきましては、令和7年3月31日で任期満了となる、矢部整氏について、引き続き同氏を副町長に選任したいので、地方自治法第162条の規定により、本議会の同意を求めるものでございます。

副町長として選任したい者、八頭郡智頭町大字大屋35番地、矢部整氏、昭和35年4月9日生まれ。

なお、選任後の任期は、令和7年4月1日から令和11年3月31日までの4年間であります。

以上で説明を終わります。

○議長(谷口雅人) 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

10番、大河原議員。

○10番(大河原昭洋) 副町長の選任についてということですが、これ町長のほうから提案されとることになりますけども、再任の提案をされた理由について、少しお聞かせいただきたいと思っております。

○議長(谷口雅人) 金兒町長。

○町長(金兒英夫) 信頼できるに値する人物だということで、今回提案をさせていただきます。余人をもって代え難いというふうに思っております。

○議長(谷口雅人) ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

暫時休憩します。

休 憩 午後 1時43分

再 開 午後 1時43分

○議長(谷口雅人) 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第25号、議案第42号 智頭町監査委員の選任についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長(國岡厚志) 議案書46ページをご覧ください。

議案第42号 智頭町監査委員の選任につきましては、令和7年5月31日で任期満了となる、小林新氏について、引き続き同氏を委員に選任したいので、地方自治法第196条第1項の規定により、本議会の同意を求めるものです。

智頭町監査委員として選任したい者、八頭郡智頭町大字智頭1809番地1、小林新氏、昭和24年11月18日生まれ。

なお、選任後の任期は、令和7年6月1日から令和11年5月31日までの4年間であります。

以上であります。

○議長(谷口雅人) 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 質疑なしと認めます。

日程第26、議案第43号 智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任についての補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長(西川公一郎) 議案書の47ページをご覧ください。

議案第43号 智頭町固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

これは、固定資産評価審査委員会委員、金允基氏の任期が本年6月18日で満了となりますので、引き続き同氏を選任したいので、地方税法の規定により、議会の同意を求めるものであります。

選任したい者、八頭郡智頭町大字智頭1860番地19、金允基、昭和48年8月11日生まれ。

任期につきましては、令和10年6月18日までの3年間でございます。

説明は以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第27、議案第44号 第4次智頭町行財政改革プランの改訂についての補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 議案書48ページ及び別で配付をしております、第4次智頭町行財政改革プラン改訂をご覧いただきたいと思います。

議案第44号 第4次智頭町行財政改革プランの改訂につきましては、プランの終期を第7次智頭町総合計画と合わせるため、令和8年度までの2年間延長することに伴い、所要の改正を行うことについて、議会基本条例第9条の規定により、本議会の議決を求めるものでございます。

それでは、プランの概要を説明させていただきますので、別にお配りしておりますプランをご覧いただきたいと思います。

なお、今回配付しているプランについては、改訂箇所が分かりやすいよう赤文字で記載しております。

計画の考え方については、これまでと変わりなく、それぞれの項目について行っております。令和2年度から令和5年度の実績に合わせて記載を変更しております。

また、令和6年度から令和8年度までについては、これまでの実績に合わせてシミュレーションをしております。

計画中にあります中期財政見通しについては、図3の財政見通し、また、表1の財政シミュレーションのとおりでございます。

表1の形式的収支では、改訂前のプランでは、プラス・マイナス0で見込んでおりましたが、実績値では、約1億円から2億円の黒字となっております。また、

年度末基金残高についても、大幅に積み増しができております。

今後も、行財政改革プランに沿って、切れ目のない行財政改革に取り組んでいきたいと考えております。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第28、議案第45号 公の施設における指定管理者の指定について（智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンター）の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第45号 公の施設における指定管理者の指定についてです。

議案書49ページをご覧ください。

地方自治法第244条の2第3項に規定する公の施設の指定管理者を指定することについて、同条第6項の規定により、本議会の議決を求めるものです。

公の施設の名称は、智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンターです。指定管理者は、八頭郡智頭町大字智頭1875番地、社会福祉法人智頭町社会福祉協議会会長 津田英樹です。

指定の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までとなります。

指定の理由です。智頭町立智頭心和苑及び智頭デイサービスセンターの管理業務を効果的かつ効率的に行うため、社会福祉法人智頭町社会福祉協議会を指定管理者として指定しようとするものです。

なお、指定につきましては、指定管理者選考委員会で厳正な選定・審査を行った結果、選定者として決定したことを申し添えます。

説明は以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第29、議案第46号 公の施設における指定管理者の指定について（旧塩屋出店及び西河克己映画記念館）の補足説明を求めます。

迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） それでは、議案50ページをお願いします。

公の施設における指定管理者の指定についてでございます。

これは、地方自治法第244条の2第3項に規定する公の施設の指定管理者を指定することについて、同条第6項の規定により、本議会の議決を求めるものでございます。

公の施設の名称は、旧塩屋出店及び西河克己映画記念館、指定管理者は、東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア735、VOID株式会社代表取締役 井上雅之。指定の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間。指定の理由は、旧塩屋出店及び西河克己映画記念館の管理業務を効果的かつ効率的に行うため、VOID株式会社を指定管理者として指定しようとするものでございます。

なお、本社は、指定管理者選考委員会で厳正な審査を行い、選定者として決定されたことを申し添えます。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第30、議案第47号 町道の路線の変更についての補足説明を求めます。

酒本地域整備課長。

○地域整備課長（酒本和昌） それでは、議案書51ページをご覧ください。

議案第47号 町道の路線の変更についてでございます。

これは、町道山崎支線・町道山崎向河原線の2路線の終点を変更し、延長することについて、道路法第10条第3項の規定により、本議会の議決を求めるものであります。

説明に当たり、先月の常任委員会で配付した図面もご覧いただけますとありが

たく思います。

このたびの変更路線である山崎支線及び山崎向河原路線の両線は、既に町道認定されていますが、このたびの路線の終点を変更し、延長するものです。

変更の理由として、地域住民の生活に欠かせない路線であり、周辺道路と一体となり、道路網を形成することが望ましく、町道として管理することが適切であると判断いたしました。

なお、それぞれの詳細な変更点につきましては、51ページ下段に記載のとおりでございます。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第31、議案第48号 字の区域の変更についての補足説明を求めます。

原田地籍調査課長。

○地籍調査課長（原田誠之） 議案書52ページ、説明資料5ページをご覧ください。

議案第48号 字の区域の変更についてでございます。

地方自治法第260条第1項の規定によりまして、令和4年8月から令和4年9月及び令和5年6月から令和5年7月に実施しました地籍調査事業の大字大呂地区の一部、契約面積2.15平方キロメートルの一筆調査を実施した成果により、地形の実態に整合するように字の区域の変更を行うものでございます。

なお、区域の変更の詳細につきましては、議案書53ページから54ページに記載してございます。

変更の日は、国土調査法の規定により、認証の日でございます。

以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第32、議案第25号から日程第40、議案第33号までの9議案の補足説明及び質疑を行います。なお、この9議案については、本日、可否の決定を行います。

日程第32、議案第25号 令和6年度智頭町一般会計補正予算（第8号）の補足説明を求めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 補正予算書1ページをご覧ください。

議案第25号 令和6年度智頭町一般会計補正予算（第8号）、歳入歳出の総額から、2億6,337万5,000円を減額し、それぞれ70億3,890万9,000円とするものでございます。

まず、歳出についてですが、別に配付しております令和6年度3月補正予算概要と補正予算書により説明させていただきます。

なお、町長の提案理由と重複した説明となる場合がありますが、ご了承いただきたいと思えます。

全事業にわたって、人件費及び各事業の決算見込みに基づく調整を行っておりますとともに、併せて、各特別会計の補正に伴う各特別会計への繰出金の調整を行っております。

概要書の1ページ、補正予算書24ページの議会費では、決算見込みに基づき、旅費、印刷製本費、委託料などを減額しております。

同じく補正予算書の24ページからの総務費ですが、25ページにかけての一般管理費、財政管理費、財産管理費につきましては、会計年度任用職員を含む人件費の調整のほか、事業費の調整を、25ページから26ページにかけてのまちづくり推進費でも、事業費の調整のほか、地域情報化推進事業では、IRUスポット移転手数料の増額をそれぞれ計上しております。

26ページの地域活性化推進費及び交通政策費の交通政策事務費では、地方バス路線維持対策費補助金の増額をそれぞれ計上しております。

同じく26ページの財政調整基金費では、積立金の増額を、27ページのふるさと基金費では、ふるさと納税増加に伴う委託料などを増額しています。

27ページから28ページにかけての、また、概要書では1ページから2ページにかけての税務総務費、定額減税補足臨時給付金及び戸籍住民基本台帳費では、

人件費の調整のほか、事業費の調整をそれぞれ措置しております。

28ページから30ページにかけての衆議院議員選挙費、智頭町議会議員選挙費及び統計調査総務費では、人件費の調整のほか、事業費の調整をそれぞれ措置しています。

次は、民生費であります。

30ページから31ページにかけての社会福祉費では、社会福祉総務費で、人件費、住民税非課税世帯等給付金のほか事業費の調整を、障害福祉費では、東部広域行政管理組合障害者自立支援認定審査費負担金及び障害者給付費の増額を、老人福祉費では、生活管理指導短期宿泊事業委託料の増額を、また、介護保険事業特別会計繰出金及び後期高齢者医療特別会計繰出金の減額のほか、事業費の調整をそれぞれ措置しています。

32ページの社会福祉総務費では、隣保館運営費の実績見込みによる通信運搬費の増額のほか、人件費及び事業費の調整をそれぞれ措置しています。

32ページから33ページにかけての、概要書では2ページから3ページにかけての子育て支援推進費では、人件費の調整のほか、実績に伴う事業費の調整をそれぞれ措置しています。

33ページから34ページにかけての保育園費では、人件費の調整のほか、事業費の調整をそれぞれ措置しています。

34ページから35ページにかけての母子父子福祉費、児童館費、児童手当給付費については、人件費の調整のほか事業費の調整を、また、本折児童館費では、実績見込みに伴う光熱水費を増額しています。

35ページの生活保護総務費では、人件費、事業費の調整を、生活困窮者自立相談支援事業では、実績見込みに伴う通信運搬費及び手数料のほか、家計負担激変緩和対策給付金の増額を、また、生活困窮者応援給付金の減額をしています。

35ページから36ページにかけての衛生費、保健衛生総務費では、人件費の調整のほか、休日急患歯科診療所負担金の増額を措置しています。

また、予防費では、予防接種委託料などの減額を、環境衛生費では、実績見込みによる負担金、補助金などの減額を、母子衛生費では、実績見込みに伴う出産・子育て応援交付金などをそれぞれ減額しています。

36ページから37ページの、概要書では3ページから4ページにかけての健康増進事業費では、人件費及び後期高齢者健康診査委託料の増額など事業費の調

整を、保健師設置費では、人件費、事業費の調整をそれぞれ措置しています。

37ページの、じん芥処理費、し尿処理費及び合併処理浄化槽費で、各事業の事業費の調整を、38ページの上水道施設費では、上水道事業会計繰出金の増額を、病院施設費では、病院事業会計繰出金の増額をそれぞれ措置しております。

38ページの農林水産業費、農業費の農業委員会費では、各事業の事業費の調整を、農業総務費でも人件費の調整をそれぞれ措置しております。

38ページから39ページにかけての、概要書では4ページから5ページにかけての農業振興費では、実績見込みに伴う自然栽培新規就農者育成支援事業補助金などの減額のほか、各事業の事業費の調整を、39ページの畜産業費では、畜産共進会関連の事業費の減額をそれぞれ措置しております。

39ページから40ページにかけての地籍調査費では、人件費の調整のほか、事業の確定に伴う事業費の減額を、40ページの農業集落排水費では、農業集落排水事業会計繰出金の減額をそれぞれ措置しております。

予算書では、40ページから42ページにかけての林業総務費では、人件費の調整を、林業振興費の森づくり作業道整備事業では、実績見込みに伴う森づくり作業道整備事業費補助金の増額を、森林経営管理推進事業では、智頭町森林整備促進基金積立金の増額を、地域通貨による地域経済活性化促進事業では、原油価格や食料品など物価高騰などにより疲弊した地域経済の活性化のため、地域通貨「杉小判」を1人5枚、5,000円分を全町民に配布する経費を計上しています。なお、杉小判の流通期間は、4月中旬から7月末までの約3か月間を予定しています。

そのほか、各事業の事業費の調整を、造林事業費では、人件費の調整をそれぞれ措置しております。

42ページの、概要書では6ページの林道費では、各事業の事業費の調整を、また、水産業費の水産業振興費でも、実績見込みに伴う事業費の調整をそれぞれ措置しております。

ここから43ページとなります。

商工費の商工振興費、観光費、交流事業費では、実績見込みに伴う事業費の調整をそれぞれ措置しております。

同じく43ページの土木費、土木総務費では、人件費の調整のほか、市瀬樋門操作委託料の増額及び負担金等の減額を、安全安心なまちづくり推進事業では、

実績に伴う事業費の減額をそれぞれ措置しております。

44ページの道路維持費では、各事業の事業費の減額を、道路新設改良費でも各事業の事業費の調整を、45ページの都市計画総務費では、立地適正化計画策定支援業務委託料の増額をそれぞれ措置しております。

下水道事業費では、公共下水道事業会計繰出金の減額を措置しております。

同じく45ページの消防費、常備消防費では、負担金の減額を、非常備消防費では、人件費の調整のほか、それぞれの事業の調整を、概要書では7ページの、消防施設費では、実績見込みに伴う光熱水費の増額のほか、45ページから46ページにかけての防災費では、防災無線の戸別受信機設置手数料の増額のほか、それぞれの事業の調整を措置しております。

46ページから47ページにかけての教育費の事務局費、国際交流事業、特別支援教育総合推進事業、スクールバス運行管理事業では、人件費の調整のほか、各事業の事業費の調整を、47ページから48ページにかけての小学校費及び48ページから49ページにかけての中学校費でも、人件費の調整のほか、それぞれの事業の調整をそれぞれ措置しております。

49ページから50ページにかけての社会教育総務費では、人件費の調整のほか、各事業の事業費の調整を、中央公民館費、社会教育施設費では、人件費の調整のほか、事業費の調整をそれぞれ措置しております。

50ページから51ページにかけての文化財整備活用費では、各事業の事業費の調整を、51ページ、概要書では8ページの図書館費では、人件費の調整のほか、事業費の調整を行っております。

52ページの保健体育総務費でも、各事業の事業費の調整を、学校給食費では、人件費の調整のほか、事業費の調整を、また、実績見込みに伴う燃料費の増額を、52ページから53ページにかけての体育施設費でも事業費の調整を措置しております。

以上、合計2億6,337万5,000円の減額補正となっております。

次に、歳入についてです。

補正予算書13ページをご覧ください。

地方交付税から町債まで、歳入と同額の合計2億6,337万5,000円の減額となっておりますが、いずれも実績及び決算見込みに基づくものであります。主なものは、地方交付税を現段階での実績により増額し、繰入金では、財政調整

基金、森林整備促進基金などからの繰入金の減額を、町債では、過疎債の林業振興事業債、農業振興事業債、土木債、教育債の減額を、また、消防債の緊急防災・減災事業債をそれぞれ措置をしております。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

この議案に対する質疑は、歳入、歳出、繰越明許費から地方債の3区分に分けて行います。なお、質疑に当たりましては、必ずページ数を示してください。

それでは、歳入の質疑を行います。

質疑はありませんか。

10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋） 15ページの地方交付税です。修正額が4億2,000万円ということで、結果的に36億5,500万円というふうなことになるということでもありますけども、令和6年度の当初予算からしてみると、約6億円近く増加しているということで、結果としては、財政調整基金からの繰り入れをせずに済んだということで、これは結果としてはよかったのかなというふうに思っておりますけども、この約6億円近く、途中で補正が入ったと記憶しておりますけども、6億円近く増加した主な要因というのは何ですか。ちょっとその辺りを教えていただけますか。

○議長（谷口雅人） 國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 地方交付税につきましては、毎年、実績であったり、そういったものについて低めで見えております。最初から当てにして少なくなるより、これまでの実績であるとか、そういったものに近い数字として予算計上しておりますので、いろんな係数であるとかというものが入って、増額となっております。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、歳出の質疑を行います。

質疑はありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） 補正予算書の27ページ、14番の工事請負費500万円の減となっておりますけども、これはどこの工事で、どういう理由で減ったのか教えていただけますか。26ページ、すみません。

○議長（谷口雅人） 迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） 26ページの工事請負費ということですけども、これは、移住定住の関連でして、まちが空き家を活用してサブリースを行うという予定だったんですけども、所有者の方と、次に改修後に使われたいという方の折り合いがなかなかつかなくて、なかなか年度内の完成の見通しが立たなくなったことにより、工事取り止めとなりました。

以上です。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

1番、北川議員。

○1番（北川貴将） 予算概要1ページで、本冊25ページの1879番、地域情報化推進事業でございますが、手数料の増というところで、理由では、IRUスポット保守などがありますが、すみません。ちょっとIRUスポット保守の説明をいただければと思ひまして。

○議長（谷口雅人） 迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） IRUなんですけども、これは、例えば大雪などで、この季節、簡単に言うと、告知端末です。各戸に設置されているんですけども、これも老朽化の対応であったり、そういった経費でございます。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） すみません。26ページ、17番の備品購入費が114万6,000円減となっておりますが、これは、当初は何を買われる予定だったのでしょうか。

○議長（谷口雅人） 迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） 備品購入費114万6,000円の減のうちの100万円が水力発電、いわゆる電源立地の事業でございますが、これが集落申請がなかったということ。こういったケースの場合は、まちの防災備品等を整備した実績はあるんですけども、このたびは、それにつきましても見送りをさせていただいたということでございます。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

4番、岡田議員。

○4番（岡田光弘） 同じく、26ページの交通政策費の中で、今回は地方バス路線維持対策費補助金のほうが増額になっております。こちらのほうは鳥取智頭線の件だと思うんですけど、実績で増になった内容についてお願いします。

○議長（谷口雅人） 迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） これにつきましては、簡単に言うと、赤字補填的な補助金でもあるんですけども、実績といたしますか、そもそもこの予算の編成が前年度実績をベースに予算を組んでいるものでして、今年度、大きな増というか、そういったことがあったというよりも、そういった予算の組み方をしている関係上、このような対応になったということでございます。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） 31ページの障害福祉費の19番の扶助費が、これは2,704万7,000円で大幅な増になっておるようですけども、これは多分実績でそうなったんだと思うんですけども、主な要因を教えてください。

○議長（谷口雅人） 山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 障害者給付費の増について説明をさせていただきます。

全体の利用者数というのは増減はないんですけども、令和6年に障害福祉サービスの報酬改定がありまして、そのことで、全体の金額が上がったと思われま

す。
また、利用回数についても、生活介護、短期入所等で増となっております、利用者は増えていないんですけども、利用回数が増えたということでご理解いただきたいと思

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

4番、岡田議員。

○4番（岡田光弘） 34ページ、保育園費ですけども、この中の負担金補助及び交付金の中で金額的に大きいところで、広域入所の負担金が今回、実績で減額になっております。見込みより減となった要因についてお聞きします。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 利用者が当初7人のところが2人減ということ

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

7番、谷口翔馬議員。

○7番（谷口翔馬）　　本冊46ページの負担金補助及び交付金の中の智頭町大雪支え愛活動推進事業補助金、これが全額減になっておりまして、これは令和5年9月に補正で入ってきたものだと思うんですけど、まだまだ周知が足りなくて、やはり手挙げがないのかなと自分は思っているんですけど、担当課として、どのようなふうに思ってこれを全額減にしたのかお聞かせ願います。

○議長（谷口雅人）　　國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志）　　これにつきましては、周知についてはさせてもらっているところですが、思われるのは、令和5年度は10分の10から令和6年度は4分の3の補助になって、自己負担というところが増えたためと思われま。

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

4番、岡田議員。

○4番（岡田光弘）　　38ページの病院施設費ですけども、こちらのほうには、病院事業会計の繰出金として660万円増額となっております。その中身としては、国の物価高騰の支援対策費、国費で10分の10だと思いますけども、病院全体で抱える物価高騰といいますと、資材もそうですし、光熱水費もこの金額ではとても賄えないのではないかなというふうに推察しますけども、全体の影響額から見て、今回の660万円という金額についての内容についてお願いします。

○議長（谷口雅人）　　山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬）　　病院全体の影響額については聞いておりませんが、地方創生臨時交付金に対する、物価高騰に対する補助金として繰り出しをしております。

○議長（谷口雅人）　　國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志）　　今回の交付金の要項、対象となるものがそれだけということで、病院のほうで積算をしたところが、この660万円となったため、その金額を繰り出しするというにしています。

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄）　　33ページで、子育て支援推進費の中で、18番、負担金補助及び交付金で、高校生通学費補助金が249万円減額になっておるんですけど

れども、これって、当初、多分高校生的人数は恐らく分かっておられると思うんですけど、どうして減ったのか、その理由を教えてください。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 当初は、対象の高校生全員を予算要求しています。それで、実績に基づいて、ここの決算見込みとなっていますんで、利用しない方も出てきますんで、減額と実績に基づいてなっています。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

2番、仲井議員。

○2番（仲井 莖） 本冊47ページ、宮本議員とちょっと似たような質問ですけど、18番の負担金補助及び交付金で、フリースクールの利用助成金のほうが当初69万円ぐらいあったと思うんですけど、かなりの減額があるんですが、要因のほう教えてください。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 当初、通学といいますか、通う予定だった生徒が実際行かなくなったというのが実績がありましたんで、減額となっています。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋） 42ページの、これは林業振興費の分かりやすく言うと、杉小判です。地域経済活性化促進交付金ということで、第9弾目ということで、町民からは、それなりにすごい評価をいただいておりますけども、これちょっとこのためだけに国から物価高騰の交付金が来たというわけではなしに、これは町としてのやりくりの中で、町独自の事業というふうな認識でよろしかったんでしょうか。その辺りをちょっと確認です。

○議長（谷口雅人） 國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） これは、国の交付金を活用して行うものでございます。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） 41ページの林業振興費の中の18番、負担金補助及び交付金、ほぼほぼ減額なっている中で、森づくり作業道整備事業費補助金だけが47万9,000円の増になっているんですけども、その理由を教えてください。

○議長（谷口雅人） 山本山村再生課長。

○山村再生課長（山本 進） この事業は県の補助金も活用しておりまして、県から補助金の追加配分がありまして、令和7年度に予定していた事業の一部を前倒しで実施するということでもあります。

以上です。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 先ほどの大河原議員の質問にちょっと補足をして説明をさせていただきます。

このたびの交付金についてですが、令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加分ということできているものでございます。そのメニューの中で、推奨メニューというものがございまして、本町には三千数百万円来ております。それを活用して、先ほどの杉小判と病院事業に繰り出しをしている物価高騰の部分の2項目について、このたびは行うものでございます。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋） 物価高騰で国の交付金だというのは分かるんですけど、このたびの40ページになるのかな、林業振興費の中の国県支出金は2,900万円なんで、そこの数字がちょっと合わないなというふうに思うんですけど。だから一般財源をいくらか充てているということになるんですか。その辺りのちょっと説明をもう一度お願いします。

○議長（谷口雅人） 國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 不足する部分については、一般財源も充てております。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

4番、岡田議員。

○4番（岡田光弘） 49ページの学校運営費の中で、このたび少人数学級の協力金について、500万円の減額となっております。その内容について、説明をお願いします。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 少人数学級の編制に伴いまして、当初2人の先生の配置要望を県にしていたけども、配置が1人のみということでしたので、その

1人分の減額となっています。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） 51ページ、文化財整備活用費の中の14番の工事請負費595万1,000円が減額となっておりますけども、これはどこかの工事を止められたのか、できなかったのか教えてください。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 一つは、石谷家住宅の火災受信機の工事の残と、もう一つが、史跡智頭往来災害復旧工事の残額を合わせたところがこの金額になります。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋） 45ページの都市計画総務費で、委託料で929万5,000円か、立地適正化計画策定支援業務委託料ということで、この金額が国の補助金を確保できたということのようなんですけども、この分の委託料はどのような事業に使われるか、その内容をもう少し詳しく説明をお願いいたします。

○議長（谷口雅人） 酒本地域整備課長。

○地域整備課長（酒本和昌） これにつきましては、何回か説明をさせてもらっているんですけども、都市計画マスタープランと立地適正化計画の策定業務の委託料になります。その中で、立地適正化計画部分については、国のほうから550万円の補助が出るということでしたので、令和7年度、全国でこの立地適正化計画の策定に係る自治体が増えているということで、国のほうが平準化して予算が充てられるようにということで、令和6年度に補正予算を組まれることになりました。ですので、そこで申請をして、前倒しで令和6年度に補助の内示が出たということになりますけども、ですので、この立地適正化計画、都市マスタープランの策定に係る委託業務として発注するということになります。

○議長（谷口雅人） 10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋） 説明はよく分かりましたけども、具体的にどのエリアとか、智頭町全体なのかとか、その辺をちょっと私もちょうとその辺りがよく分からないので、そこを少し掘り下げて説明をお願いいたします。

○議長（谷口雅人） 酒本地域整備課長。

○地域整備課長（酒本和昌）　　まず、立地適正化計画というのは、智頭町内の都市計画区域内における都市関係、ハード面のまちづくりの指針をつくるということになりますし、都市マスタープランというのは、都市計画区域外の今後のまちづくりの方針をつくっていくという形になります。あくまで、都市計画区域内だけではなく、本町としては、都市計画区域だけではなく、全町の指針といいますか、方向性を出したいということで、今回、都市マスタープラン、智頭区以外です。智頭区のところの立地適正化計画というものをつくる計画としております。

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄）　　36ページの予防費の中の委託料で、予防接種委託料、これが515万円の減となっておりますけども、これはコロナとかインフルエンザとか、そういう予防接種の関係でしょうか、教えてください。

○議長（谷口雅人）　　山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬）　　予防接種委託料についてです。予防接種については、接種ができない方がないように予算を確保しているところなんですけれども、全体的に多めにということで予算を確保しているところです。その中でも、特にコロナウイルスワクチンが令和6年度から始まったため、ちょっと読み切れていないところがありまして、500万円の減額というふうにさせていただいております。

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

8番、波多議員。

○8番（波多恵理子）　　本冊は31ページで、補正予算概要は2ページの重層的支援体制整備事業（介護）のところの講師等謝金の減とありますが、この講師の方の仕事内容と金額が減った理由を教えてください。

○議長（谷口雅人）　　山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬）　　講師の方の内容についてお答えをさせていただきます。

これは、生活支援事業ですと、フレイル予防とですとか、フレイルの教室の講師さん、地域介護で言えば、元気教室の先生というような方が講師となります。

○議長（谷口雅人）　　ほかありませんか。

10番、大河原議員。

○10番（大河原昭洋）　　43ページの商工振興費の負担金補助及び交付金で、

特定地域づくり事業補助金ということが1,420万円減額ということで、当初これ確か4,000万円の計上だったと思うんですけど、認識としては、複業協同組合に関係するのかなというふうに思うんですけど、この大幅な減額になった要因について、少し説明をお願いいたします。

○議長（谷口雅人） 迎山企画課長。

○企画課長（迎山恵一） 複業協同組合なんですけども、当初、十数名の組合員を確保ということの目標で予算のほうも計上していたんですけども、やはりなかなか諸事情がありまして、なかなか伸び悩んでいるということで、現在8名ということで、そういった実績で大幅な減額となっております。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

5番、宮本議員。

○5番（宮本行雄） 52ページの学校給食費の中で、備品購入費が172万7,000円の減となっておりますけども、買う予定のものを買わなかったのか、買えなかったのか、その辺のところを教えてください。

○議長（谷口雅人） 竹内教育課長。

○教育課長（竹内 学） 給食配送車の1台の入札の減です。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

次に、繰越明許費から地方債までの質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

最後に、再度一般会計補正予算全般にわたっての質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

暫時休憩します。

休 憩 午後 2時40分

再 開 午後 3時04分

○議長（谷口雅人） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第33、議案第26号 令和6年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第26号 令和6年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）です。

補正予算書59ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3,400万円を増額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ7億5,714万1,000円とするものです。

歳出につきましては、66ページをご覧ください。

一般被保険者療養給付費及び一般被保険者高額療養費で、医療費の実績見込みにより、負担金の増額を計上しています。

歳入につきましては、65ページをご覧ください。

基金繰入金及び繰越金で措置しています。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

3番、西尾議員。

○3番（西尾寿樹） 66ページになるんですが、高額医療費400万円となっております。現金給付になっておりますが、その内容を教えていただけますでしょうか。

○議長（谷口雅人） 山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） これは、国保の方の医療費が高額になった場合に支払いするものです。これの医療費自体の給付というのは、国保連のほうに支払うこととなります。

○議長（谷口雅人） ほかありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第34、議案第27号 令和6年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） 補正予算書67ページをご覧ください。

議案第27号 令和6年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）でございます。

歳入歳出予算の総額から、それぞれ69万1,000円増額し、歳入歳出予算の総額を184万円とするものでございます。

まず、歳入について説明させていただきますので、72ページをご覧ください。決算見込みによりまして、貸付金元利収入、前年度繰越金とそれぞれの収入を調整しております。

次に、73ページの歳出についてであります。貸付金収入の決算見込みによりまして、一般会計への繰出金を調整しております。

説明は以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第35、議案第28号 令和6年度智頭町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第28号 令和6年度智頭町介護保険事業特別会計補正予算（第5号）です。

補正予算書74ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ71万8,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ11億3,634万円とするものです。

歳出につきましては、82ページをご覧ください。

一般管理費では、実績に伴う人件費の調整を、介護予防生活支援サービス事業費では、通所サービス事業の実績による委託料の減額を、一般会計繰出金では、一般会計の重層的支援事業の実績により繰出金の増額を、また予備費では、介護予防サービス収入の増加による財源調整を措置しています。

歳入につきましては、80ページから81ページをご覧ください。

国庫支出金、支払基金交付金、県支出金、繰入金及び介護予防サービス収入で措置しています。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第36、議案第29号 令和6年度智頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の補足説明を求めます。

山本福祉課長。

○福祉課長（山本洋敬） 議案第29号 令和6年度智頭町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）です。

補正予算書86ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ583万1,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ1億3,077万6,000円とするものです。

歳出につきましては、93ページをご覧ください。

後期高齢者医療広域連合納付金で実績に伴い、負担金を増額措置しています。

歳入につきましては、92ページをご覧ください。

繰入金及び繰越金で措置しています。

以上で説明を終わります。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第37、議案第30号 令和6年度智頭町公共下水道事業会計補正予算（第3号）の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） それでは、公共下水道事業の会計補正予算の補足説明をさせていただきます。

補正予算書 1 ページをご覧ください。

議案第 30 号 令和 6 年度智頭町公共下水道事業会計補正予算（第 3 号）でございます。

収益的収入及び支出のうち、下水道事業収益の営業外費用収益を 415 万 4,000 円減額し、2 億 5,660 万 9,000 円に、また、下水道事業費用の営業費用を 415 万 4,000 円減額し、2 億 5,770 万 9,000 円としております。

詳細につきましては、3 ページをご覧ください。

収益的支出につきましては、下水道事業費用のうち、管渠費並びに処理場費について、決算見込みに伴う動力費、委託料等の減額を、また、総係費につきましては、人事院勧告に伴う賞与引当金繰入額の増額を計上し、ストックマネジメント作成業務委託の入札実績に伴う減額を計上しております。

収益的収入につきましては、補助事業の実績見込みに伴う国庫補助金の減額並びに他会計補助金の減額を計上しております。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第 38、議案第 31 号 令和 6 年度智頭町農業集落排水事業会計補正予算（第 4 号）の補足説明を求めます。

西川税務住民課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） 補正予算書 1 ページをご覧ください。

議案第 31 号 令和 6 年度智頭町農業集落排水事業会計補正予算（第 4 号）でございます。

収益的収入及び支出のうち、下水道事業収益の営業外収益を 243 万 3,000 円減額し、2 億 4,386 万 3,000 円に、また、下水道事業費用の営業費用を 243 万 3,000 円減額し、2 億 4,496 万 3,000 円としております。

続きまして、資本的収入及び支出の資本的収入のうち、他会計補助金を 6 万 6,

000円減額し、2億2,943万7,000円に、資本的支出については、建設改良費を6万6,000円減額し、2億2,833万7,000円としております。

詳細につきましては、4ページをご覧ください。

収益的支出につきましては、下水道事業費用のうち、管渠費並びに処理場費について、決算見込みに伴う動力費、委託料等の減額を計上しております。

また、総係費については、人事院勧告に伴う賞与引当金繰入額の増額を計上し、東部広域行政管理組合の負担金実績に伴います減額を計上しております。

収益的収入については、他会計補助金の減額を計上しております。

続きまして、5ページの資本的支出につきましては、芦津マンホールポンプ場の発電機自動切替盤の設置工事の入札に伴います減額を計上しております。

資本的収入につきましては、建設繰入金の減額を計上しております。

説明は以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第39、議案第32号 令和6年度智頭町水道事業会計補正予算（第4号）の補足説明を求めます。

西川水道課長。

○税務住民課長兼水道課長（西川公一郎） 補正予算書1ページをご覧ください。

議案第32号 令和6年度智頭町水道事業会計補正予算（第4号）でございます。

収益的収入及び支出のうち、水道事業収益の営業外収益を18万6,000円増額し、9,564万1,000円に、また、水道事業費用の営業費用を18万2,000円減額し、8,726万2,000円としております。

続きまして、資本的収入及び支出のうち、資本的収入の補助金を110万円減額し、3,414万円としております。

詳細につきましては、3ページをご覧ください。

収益的支出につきましては、水道事業費用のうち、排水費及び給水費につつま

しては、決算見込みに伴う減額等を計上しております。

総係費につきましては、人事院勧告に伴う賞与引当金繰入金の増額を計上しております。

収益的収入につきましては、人件費の増額の財源、職員3名分のうち2名分につきまして、他会計補助金で措置しております。

続きまして資本的収入につきましては、上水道排水管新設工事請負費の実績減に伴う国庫補助金の減額を計上しております。

説明は以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

日程第40、議案第33号 令和6年度智頭町病院事業会計補正予算（第4号）の補足説明を求めます。

福安病院事務部長。

○病院事務部長（福安教男） 予算書1ページをご覧ください。

議案第33号 令和6年度智頭町病院事業会計補正予算（第4号）でございます。

第2条の収益的収入及び支出につきまして、収益的収入に660万円を追加しまして、総額で19億8,979万4,000円に、病院事業費用に85万2,000円を追加しまして、総額21億2,477万1,000円とするものです。

第3条のところ、議会の議決を経なければ流用することができない経費につきましては、給与費の補正に合わせて計上しております。

予算書15ページをご覧ください。

物価高騰対策に係る地方創生臨時交付金の対象事業分としまして、他会計補助金で措置しております。

16ページ、17ページをご覧ください。

医業費用と老人保健施設事業費用の給与費及び各経費につきまして、実績に基づき措置しております。

以上です。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

暫時休憩します。

休 憩 午後 3時20分

再 開 午後 3時28分

○議長（谷口雅人） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第32、議案第25号 令和6年度智頭町一般会計補正予算（第8号）の
討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立 11名）

○議長（谷口雅人） 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第33、議案第26号 令和6年度智頭町国民健康保険事業特別会計補正
予算（第5号）の討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

（賛成者起立 11名）

○議長（谷口雅人） 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第34、議案第27号 令和6年度智頭町住宅新築資金等貸付事業特別会
計補正予算（第1号）の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第35、議案第28号 令和6年度智頭町介護保険事業特別会計補正予算(第5号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第36、議案第29号 令和6年度智頭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立を願います。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第37、議案第30号 令和6年度智頭町公共下水道事業会計補正予算(第3号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第38、議案第31号 令和6年度智頭町農業集落排水事業会計補正予算(第4号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第39、議案第32号 令和6年度智頭町水道事業会計補正予算(第4号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(谷口雅人) 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

(賛成者起立 11名)

○議長(谷口雅人) 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

日程第40、議案第33号 令和6年度智頭町病院事業会計補正予算(第4号)の討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（谷口雅人） 討論なしと認め、直ちに採決をします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立をお願いします。

（賛成者起立 11名）

○議長（谷口雅人） 起立多数です。

よって、本案は、原案のとおり可決されました。

一部、執行部より説明が飛んでおりました。宣告はしておりますが、日程第20、議案第37号の智頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正についての補足説明が欠けておりましたので、執行部より説明をお願いします。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） それでは、議案書16ページをご覧ください。併せて、議案説明資料3ページもご覧いただきたいと思います。

議案第37号 智頭町職員等の旅費に関する条例の一部改正につきましては、国家公務員等の旅費に関する法律の一部が改正されたことに伴い、旅費に要する実費を弁償することとするものでございます。

概要につきましては、議案説明資料3ページの2の概要にあるとおり、「宿泊料」を「宿泊費」に改めるものでございます。

また、「日当」を「宿泊手当」に改めるものでございます。

そのほか、鉄道賃等の交通費について、要する実費により支給するものとするものでございます。

また、食卓料を廃止、旅費支給対象者が本人であったものを、旅行役務提供者でも可能とする。そのほか「移転料」を「転居費」に改めるものでございます。

詳細につきましては、議案書17ページから35ページをご覧ください。

施行の期日は、令和7年4月1日からであります。

以上でございます。

○議長（谷口雅人） 説明は終わりました。

質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑なしと認めます。

國岡総務課長。

○総務課長（國岡厚志） 先ほど、手元のほうに議案の訂正について、差し替え

分を2枚お配りをしております。議案書の49ページ、それと52ページについて、差し替えをお願いいたしたく、配付をしております。訂正のほうよろしくお願ひいたします。

○議長（谷口雅人） 手元の確認をお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 質疑のときに、竹内教育課長の答弁の中に一部不適切な部分があったということについて、副町長より、議事録からの削除要請がございました。正式にお諮りをしていなかったようですので、この件、削除を行ってもよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 以上、そのように対応させていただきます。

程第41．陳情について

○議長（谷口雅人） 日程第41、陳情についてを議題とします。

今期定例会において、本日までに受理した陳情は、お手元に配付しております陳情文書表のとおりであり、所管の常任委員会に付託しましたので、報告します。お諮りします。

各委員会審査等のため、3月8日から3月17日までの10日間を休会したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（谷口雅人） 異議なしと認めます。

よって、3月8日から3月17日までの10日間を休会することに決定しました。

3月7日午前9時から本会議を開き、一般質問を行います。休会中は委員会等を開き、付託案件の審査等をお願いします。

来る3月18日は本会議を開き、各委員会の報告を求め、質疑、討論並びに採決を行います。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会します。

散 会 午後 3 時 4 0 分

地方自治法第123条第2項の規定により次に署名する。

令和7年3月6日

智頭町議会議長 谷 口 雅 人

智頭町議会議員 西 尾 寿 樹

智頭町議会議員 岡 田 光 弘